

KSK

2024 夏号

すたこらさん

どうかいとくしゅう
総会特集レポート

ねんどじぎょうほうこく
2023年度事業報告と

ねんどじぎょうけいかく
2024年度事業計画



おおさか げんかん くるま はい
大阪の玄関、車いす入れへん
これ、あかんよな!?

↓ ジェイアールおおさかえきちゅうおうかいさつ
JR大阪駅中央改札



車椅子スロープ
Accessible Slope

車椅子でJR線をご利用の方へ

これより先にはスロープがございませんので
誠に恐縮ですが下図の通り南ゲート広場から
JR南口改札へお回り下さい。



ジェイアールおおさかえきちゅうおうぐち
JR大阪駅中央口。大阪の玄関なのに車いすで入場できません。別の改札まで遠回りさせられる
っておかしくない？

おおさか げんかん くるま にゅうじょう べつ かいさつ とおまわ
来年は関西万博もあるのになあ〜（昨秋実施の梅田まちあるきに参加して）

おおさか行動する障害者応援センター
役員および職員

理事

佐々木
與那嶺
田東
伊原
笠原
北口
北口
下田
福岡
福岡
牧口

康至
司
祐資
史恵
由紀恵
悦子
幸男
かず也
一ち
千夏
義弘
一じ
郁二
ち子
千あ
秋

(代表)
(副代表)
(会計)

監事

辻
橋高

職員

福岡
島
北口
下田
戸田

義弘
幸男
かず也
しゅんじろう
俊二郎

(事務局長)
(事業所サービス管理責任者)
(事務局員・事業所管理者)
(事務局員・事業所スタッフ)
(事業所専従職員・主任)
(事業所サービス管理責任者)
(事業所専従職員)
(事業所専従職員)
(事業所専従職員・看護職員)
(事業所専従職員・看護職員)
(事業所専従職員・看護職員)
(事業所専従職員)
(事業所スタッフ・看護職員)
(事業所スタッフ)

まつ井
坂井
高島
糸井
森澤
井ノ口
篠原
谷野
神田

里江
太郎
義幸
麻衣子
香織
貴子
鈴音
節子
孝次

2023年度事業報告および決算

1. 教育研修事業^{きょういくけんしゅうじぎょう}
 - a) 講師派遣報告^{こうしはけんほうこく}
 - b) ゆめ風中学生プロジェクト報告^{かぜちゅうがくせい ほうこく}
2. まちづくり事業^{じぎょう}
3. 広報事業^{こうほうじぎょう}
4. グループ活動事業^{かつどうじぎょう}
5. 研修等その他活動^{けんしゅうな ど かつどう}
6. 作業所事業および生活介護事業^{さぎょうじょじぎょう せいかつかいごじぎょう}
 - a) 作業所運営会議報告^{さぎょうしやうんえいかいぎほうこく}
 - b) 良返屋活動報告^{りやうがえやかつどうほうこく}
 - c) ぜんかい屋活動報告^{や かつどうほうこく}
7. 2023年度 決算^{ねんど けっさん}

KSKすたこらさん

1. 教育事業

1-a. 講師派遣事業

おおさかしりつけいはつしょうがっこう
■大阪市立啓発小学校

9月19日(火) 打ち合わせ：吉田先生、阿部さん、下田、福島

対象 5年生2クラス(56名)

○10月3日(火) 下田、福島

ゆめ風からの協力依頼。下田さんは自身のスポーツへの取り組みを中心に話し、国体で獲得した砲丸投げの金メダルを見せたら子ども達は大興奮。福島は自動車の運転動画などで日常生活を紹介した。また二人で、車いすでの生活に関するクイズをして楽しんだ。電動車いすにも興味津々といった感じであった。

○11月3日(祝・金) 避難訓練に参加(下田)

おおさかじょがくいんこうこう
■大阪女学院高校

10数年ぶりに講師依頼の連絡があった。以前は中学校からの依頼であったが、今回は高校3年生を対象に実施。

9月19日(火) 打ち合わせ：内山先生、下田、福島

11月16日(木) 9クラス(312名)を対象に実施。



ぜんかい屋と良返屋から10名を派遣。各クラスに障害者が入って、各自の現在の生活状況や今までの生きざま、どんな思いを感じて生きてきたかなどを1時間お話しした。高校3年生の11月という受験などを控えた多忙な時期にもかかわらず、今回の取り組みを大切な活動として位置づけして実施してもらったことにはたいへん感謝している。学校側もととてもよかったといただいたので、今年も継続してほしいと期待している。

■高槻市阿武山校区オータムフェスタ

高槻市内3校（阿武山中、阿武山小、土室小）のPTA主催で開催するイベント。福島県のヘルパーが元PTA役員だったことから今回の企画につながった。多様な障害者のことを知ってもらう機会となるよう準備に取り組んだ。中学生プロジェクトのつながりで手と手とハウスにも全面的に協力を依頼した。

○実施 11月3日（祝・金） 50名ほどの参加者

応援センターから福島、村上が参加。手と手とハウスからも当事者2名の参加をいただいた。他に地元で活動している知的障害をもつ子どものお母さんが参加した。車いすを押しての操作体験や盲ろうの方との指点字、触手話を使っのコミュニケーション実演やアイマスクでの手引きなど、親子で体験できるプログラムを実施して楽しめる内容となった。プログラムの最後には、みんなで車いすリレーをして盛り上がった。

■摂津市立鳥飼北小学校

10月24日（火） 打ち合わせ：森永先生、福島

11月9日（木） 学校の下見と打ち合わせ（下田、福島）

11月28日（火） 4年生2クラス(69名)を対象に実施（下田、福島）

2022年の摂津二中での取り組みを見学に来ていた森永先生からの依頼。総合学習として障害者と出会うことから障害者を知ってほしいとの要望があり、学校内のバリアフリーチェックを子どもたちと行い、ぼくらの生活のし方を伝える話の2本建てでプログラムを実施した。小学生は好奇心が旺盛で、車いすのことや障害のことを遠慮なく質問してくるので、こちらもたいへんパワーがいらと実感した。だが、すごく楽しい時間を過ごすことができた。

KSKすたこらさん

1-b. 中学生プロジェクト

●防災教育プロジェクト

5月18日(木) 防災教育プロジェクト会議 (古山先生、ゆめ風・阿部さん、福島)

6月15日(木) 防災アプリ用防災調査 (古山先生、ゆめ風・阿部さん、福島)

●中学生プロジェクト

■柴島中学校

6月29日(木) 打ち合わせ：各務先生、阿部さん、下田、福島

対象 2年生2クラス(47名)

10月25日(水) 阿部さんの被災体験談の講演と事前講習

派遣 ゆめ風1名、手と手とハウス2名、応援センター2名

10月27日(金) 避難訓練と全体まとめとして生徒と一緒に楽しめる〇×クイズで交流

派遣 ゆめ風1名、手と手とハウス4名、応援センター7名

今回で17回目の実施となった。学校でも話したのだが生徒たちの年齢よりも長く中学生プロジェクトを実施していることに感慨を覚える。今年の生徒も真剣なまなざしで話を聞いてくれていたのが印象的だった。避難訓練も2階教室から体育館まで車いすを担いで降ろしてくれた。感想を聞くと、訓練前は車いすを落としたらどうしようと怖かったとのこと。また訓練を終えてからは、階段を降ろすとき車いすの横側に身体が来るのでどうしたらいいか戸惑ったなど具体的な感想も聞かれた。



せつ っ だ い に ち ゅ う が っ こ う
■ 摂津第二中学校

- 8月3日(木) 打ち合わせ：難波先生、阿部さん、下田、福島
対象 3年生4クラス(144名)
- 12月6日(水) 阿部さんの被災体験談の講演と事前講習
派遣 ゆめ風1名、手と手とハウス4名、応援センター2名
- 12月8日(金) 避難訓練とまとめ
派遣 ゆめ風1名、手と手とハウス4名、茨木市ほくせつ24 3名
応援センター8名

せつ っ だ い さ ん ち ゅ う が っ こ う
■ 摂津第三中学校

- 7月25日(火) 打ち合わせ：與那城先生、真鍋先生、杉本先生
阿部さん、下田、福島
対象 2年生4クラス、136名
- 1月9日(火) 学校内下見、打ち合わせ ゆめ風阿部さん、下田
- 1月22日(月) 阿部さんの被災体験談の講演と事前講習
派遣 ゆめ風1名、手と手とハウス4名、応援センター3名
- 1月26日(金) 避難訓練とまとめ
派遣 ゆめ風1名、手と手とハウス4名、茨木市ほくせつ24 3名
応援センター7名

今回初めて実施した摂津第三中学校では、学校内の階段を使い盲ろう者、歩行障害、車いすの人たちと階段を上りと下りの体験をしました。障害者の方も生徒さんも真剣にとりくんでいてコミュニケーション時間が短い中でも交流がとれて良かったと思いました。担当の学校の先生が言っていた言葉で「この取り組みは来年も引き続きしていきたいです。来年もよろしく願います。」と最後に言ってもらえました。僕自身そのように言ってもらい嬉しかったです。(下田)

KSKすたこらさん

2. 交通まちづくり事業報告（交通まちづくり&障害者大阪連絡会議）

交通まちづくり&障害者大阪連絡会議

月1、2回、リモートによる担当者会議を開催

障大連交通部会の開催。部会后、部会担当者会議の実施。

毎月第四金曜日 障大連運営委員会へのリモートでの参加が多かった。

8月29日、30日 対大阪府オールラウンド交渉参加（北口、高島）

12月12日、13日 対大阪市オールラウンド交渉参加（北口）



10月17日、19日、11月7日 基本構想見直しの為のまち歩き検証活動参加 梅田地区（北口、下田、福島）

① 大阪市基本構想の見直しについて

大阪市が約20年ぶりに見直しを開始したが、昨年は5地区（御幣島、新大阪、大正、天王寺・阿倍野、住之江）が見直し作業をされていて、パブリック・コメントを募集し、梅田やなんば等は2023年から2024年にかけて見直しが行われ、その他の地区については2024年以降に行われる予定です。

ただ、各地区の見直し委員会は障害者枠には各区の基幹相談事業所しか出席できず、梅田やなんば地区の地域の基幹相談は一般の事業所であり、障害者の本当の声が届きにくいのが現状です。

各地区にも色々と問題がありますが、代表的な新大阪と天王寺・阿倍野の問題点

をあげておきます。

・新大阪……メトロの中改札から新幹線をはさんで地上におりるエレベーターが北側と南側一ヶ所ずつしかなく、案内表示も曖昧な点。メトロ南改札は上りエスカレーターしかなく、南改札付近に次々とホテルが誕生してきており、そこに行くためには階段をおりなければならない点。メトロ中改札から車椅子で駅南側地上に行くには、一旦新幹線南出口行きのエレベーターまで行き、そのエレベーターで1階まで降り、バックヤード的なところを通り宮原車庫への引き込み線のガード下を抜けて、初めて南側に出る。ガード下の急な登り降りは電動でも難解です。

・天王寺・阿倍野……エレベーターの利用者が多く、大型化が急速な課題の一つ。また、大人用シート設置の多目的トイレの急増が必要、曖昧な案内表示の解消。阪堺線の天王寺駅前駅に地下から上がるエレベーターの案内表示が通路には見当たらない点。歩道橋からQ'sSMALL（キューズモール）には一旦地上に降りなければならない点。その他色々あります。

大阪市基本構想のページは下記の通り。ここから入って、パブリックコメントのページに行きます。

大阪市HP ページ番号：622402 で下記のアドレスが開きます。

https://www.city.osaka.lg.jp/templates/jorei_boshu/toshikeikaku/0000622402.html

② 府立公園のバリカー撤去について

数年前から府公園課との公園のバリカー撤去についての意見交換を行ってきており、2023年には府営公園全19カ所の出入口社会実験はスタートしたが、未だ場所・時間限定の状態であり、こちらからは「他の人と同じような公園利用（終日開放）」等を求めてきた。

りんくう公園が最初の候補地となり、これまで公園利用者アンケート等も行ってきたが、3月末から実施されています。

③ 大阪メトロ、駅改札口時間帯無人の課題

2016年度（17年3月）実施の旧交通局バリアフリーモニター会議において、民営化しても大阪市がメトロの株式10年間に於いて100%所持している間は、職員体制の維持と25年度末までに全線可動式ホーム柵の設置を約束したと思うのですが、メトロになってから3、4年後になると駅員が段々減っていき、来た列車にすぐに乗れず、一、二本待つように、酷いときには三本目にやっと乗れような状況になってきています。そして、2022年夏以降は各改札にいた駅員を減らされていて、インターホーン対応のところが多く、特に改札口まで階段しかない改札が目立ちます。そこを利用する視覚障害者や知的障害者等にとっては、聞きたいことが聞けない状態になりつつあります。また、エレベーターに通じる改札にしても、早朝夜間が無人になる改札口も出始めて、自分みたいに一人で乗る時が多い障害者が無料パス（単独乗車可）を改札口に入れられなかったり、言語障害の為に駅員とインターホーン越しの会話が成り立たないケースが報告されてきています。その都度、メトロに対して話し合いを求めてきたが、メトロ側は拒否。大阪市都市交通局と障害福祉課を通じメトロに働きかけをしてもらい、やっと2022年末話し合いをもったが平行線のままでした。

障大連内部でも意見が分かれ、こちら側の何かひと工夫が必要だと思っています。

3. 広報委員会報告

■春号

前年11月の発行以来、久々に総会案内を兼ねて春号を発行した。

6月1日 480部発行（455部発送）

■夏号

夏号を総会特集として編集発行した。久々に外部の方に原稿を依頼して、NPOちゅうぶの石田さんに基本構想の見直しについての動きを寄稿していただいた。

8月31日 500部発行（447部発送）

■秋号

12月25日 500部発行（408部発送）

【関定協関連】

6月28日（水） 総会（ZOOMでリモート参加）



4. グループ活動事業

●エコかる販売（北区役所前）

4月19日（水） 出店、7月12日（水） 出店
10月23日（月） 出店、12月4日（月） 出店

●日中活動委員会

欠席



KSKすたこらさん

きたくじりつしえんきょうぎかい
●北区自立支援協議会

5月30日(火) だい かい かい ぎ けつせき 第1回会議 (欠席)
8月1日(金) だい かい かい ぎ 第2回会議
12月19日(火) だい かい かい ぎ けつせき 第3回会議 (欠席)
3月14日(木) だい かい かい ぎ 第4回会議

たもくてき かいじょ せつち もと しょうめい と く
●多目的トイレに介助リフト設置を求めるネット署名の取り組み

4月11日(火) ぜんかい屋でモリトーさんと だい かい め かいごう 第4回目会合
5月30日(火) ぜんかい屋でモリトーさんと だい かい め かいごう 第5回目会合
「トイレにリフトをつける会」と命名
ヘルパー向けのリフト講習会を計画
10月20日(金) ぜんかい屋でモリトーさんと だい かい め かいごう 第6回目会合
リフト体験講習会の企画を確認。
12月にリフト講習会を企画したが、延期に。

た じぎょう
●その他事業

さがみはら じ けん といとう
■相模原事件追悼アクション

7月26日(月)
ことは かいさい
今年は、なんばで開催。スピーチとスタンディング
アクション、アピール こうしん 行進をした。
ふくしま さん か あきごう き じ さんしょう
福島もスピーチ参加 (すたこらさん秋号の記事参照)。



あ べ の ぼうさい しん ど たいけん けんしょうかい
■阿倍野防災センター震度7体験の検証会

9月13日(水) しもだ ふくしま かさはら さ さ き だいひょう さん か
下田、福島、笠原、佐々木代表が参加
しん ど たいけん そうち くるま しょうがいしゃ き けん たいけん
震度7の体験装置があるが、車 いす 障害者は危険ということで体験できない
じょうきょう かせぎ きん い ぎ と な じっしょうじっけん おこな
状況となっている。ゆめ風基金がそれに異議を唱えて実証実験を行った。ち
ゅうぶやムーブメントなどの団体から20名ぐらいの障害者が参加した。たしかに
しん ど ゆ ぎょうれつ でんどうくるま いっしゅん う あ
震度7の揺れは強烈で、電動車いすでも一瞬浮き上がってしまうことがわかつた。
ふたり くるま の ひと ささ き けん かん
2人ぐらいで車 いす と 乗っている人を支えていないと危険だと感じた。
はんしんだいしんさい なんかい じしん ゆ かた ゆ じかん たいけん
また阪神大震災と南海トラフ地震では揺れ方も揺れの時間もちがうことを体験

できた。その意味でも体験をさせてもらえないということ自体がおかしいことだといえるだろう。引き続き、ゆめ風基金と大阪府が話し合っていくことになっている。

■摂津市避難所建設にあたってのモニター会

10月13日(金) モニター実施

摂津市が新たに常設の避難所を建設計画中で、そこに設置する多目的トイレおよび車いす対応のシャワールームについても意見を聞くモニター会が実施された。本来、摂津市民の障害者でやろうとしたが、確保できずに応援センターに協力要請があった。そこで下田と福島が参加して意見をのべた。シャワールームには脱衣場を併設するようだが、せまい感じで想定されていた。バリアフリー法に規定はないが、リフトの設置をすすめてみている。モリトーとの取り組みをやっているの、この動きとリンクできたらいいなと思っている。

1月21日(日) モニター会議

さらに人数を増やしてのモニター検討会が実施された。実際にブースを作り、通路幅も想定しているものを仮に設置して検討会が行われた。実際にモノを配置すると大きさや広さを体験できて現実的な意見などが出てきた。

3月2日(土) シンポジウム

■ヤングケアラーの調査研究インタビュー・シンポジウムへの参加

8月10日(木) 調査インタビュー

応援センターが誕生した頃に応援者として活動経験のある東京女子大学の上野加代子先生からインタビュー依頼があり、福島家3人(道子と娘)で対応した。日本では4～5年前からマスコミの先導によって問題としてクローズアップした。しかしながらこれはセンセーショナルに格好の社会的課題として取り上げられた。本来、社会資源が十分に活用できていない、あるいは不足していることが議論されるべきであるはずだが、そこは触れられない。介護を未成年の子ども

KSKすたこらさん

に依存している親の資質に問題があるという形でマスコミには報道される。これによって、障害をもつ親は失格の烙印を押されることになる。これはぼくたち夫婦がこれまでの子育ての中で、さんざん身内（とくに自分の親）から責めつづけられてきたことである。

今回、上野先生と協働研究をされている香川大学の辻京子先生はこの報道のあり方と社会の受け取り方について疑問視されている。インタビューの中で知ったことだが、行政が虐待事案を判定する項目に「親が障害者である」というのがあるそうだ。どこまでも障害者は負のレッテルを貼られていることに愕然とする。

1月27日(土) シンポジウム

四国大学・辻京子先生より参加依頼がありオンラインシンポジウムに参加した。応援センター運営委員会が出された意見などを織り交ぜて発題させていただいた。

■大阪北区ジシン本講座

大阪市北区には地域活性化事業として、いつ起こるかわからない地震などの災害に備えて、北区に居る皆さんが日ごろからどのような準備をし、災害が発生した時にいかに命を守り切るかを考える手がかりをまとめた「大阪北区ジシン本」というガイドブックがあります。 <https://jishinbook.net/>

12月15日(金)

そのジシン本の出張講座が、応援センター・ぜんかい屋で実施されました。当日はジシン本サポーターの皆さん、北区基幹相談支援センター川西さんも来て下さり、防災動画視聴、災害伝言アプリの体験、防災食の試食会などで防災について楽しみながら学びました。



5. 研修等その他の活動

内部研修 特に実施できなかった。

5月19日 障大連研修受講 篠原受講

1月16日・17日 サービス管理責任者更新研修 戸田・福島受講

●コロナ対応

2023年度を迎え、5月にコロナの5類移行もあったが、コロナやインフルエンザは作業所メンバーやスタッフ、およびその家族やヘルパーに感染者や濃厚接触者が断続的に発生しており、3年来の各種感染症対策は継続している。幸いに感染拡大による閉所などは免れたが、感染や濃厚接触のあったメンバーやスタッフの5日間程度の来所・出勤規制は度々必要であった。

2023年末以降コロナワクチン予防接種のサポート、2024年3月でスタッフのPCR定期検査は終了した。

6. 地域拠点づくり事業報告（作業所事業および生活介護事業）

6-a. 作業所運営会議報告

1) 会議開催日時

実施できず。

2) 構成

実施できず。



3) 2023年度の取り組み

◇ メンバー・スタッフ

新メンバーの受け入れはなかった。

新スタッフは2023年8月より1名増員。

◇ グループ内の協力行事・業務の相談

ゆめ風中学生防災プロジェクト・大阪女学院高等部講師派遣への参加
と機関誌「すたこらさん」の編集・発行などについて取り組んだ。

◇ モニタリング会議

事業所を利用するメンバーの個別支援のあり方について話し合いを
随時行った。その性格上、ぜんかい屋、良返屋ともに個別に会議日を
設定して支援の基盤を作っていけるように個別支援計画の見直しや評価
に努めた。

メンバーそれぞれが利用している障害者相談支援センターとの連携や
協力は欠かすことはできず、ケア担当者会議や相談支援モニタリング
等にも適宜に参加。

4) コロナ禍対策

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、その後
も感染拡大は続き、インフルエンザも夏ごろから流行し、作業所メンバーやスタ
ッフにも感染する人や、感染が疑われるケースが何度かあったので、5類移行前
からの感染症対策は基本的には継続した。

6—b. 2023年度(2023. 04～2024. 03) 良返屋報告

- ・5月GW（ゴールデンウィーク）あけより短縮時間から通常時間に戻したことが大きなことだった。

みんなとゆっくり触れ合えること、作業にしっかり取り組めることが嬉しかった。

- ・良返屋には珍しくメンバー全員、なんらかの医療が必要な状態が発生した。感染した人など、その期間や受診内容はそれぞれ大小あるも、みんな大事にはいらず心から安堵した。

1) メンバー

福島道子(身体)・三浦佳奈(身体・知的)・辻原彩(知的)・向井望(身体・知的)・
山下福恵(身体・知的)・中尾英樹(身体)・米田明美(知的) 計7名

2) スタッフ

生活支援員 松井里江
生活支援員兼看護師 谷野節子(週3日+イレギュラー出勤多数)

3) 応援者(ボランティア)

1人＝7、10、2月の外出行事・事業所(手芸をサポート)の4回・新しい応援者はなし。

4) 活動・作業

○感染防止対策・密を避けた活動(継続)

机の配置変え・食べ物を作る行事は避ける・外出は感染者数と状況をみて実施・消毒の徹底。

○軽印刷：印刷、編集作業、レイアウト、汚れチェック、配達等を行う

すたらさん印刷	3回 総会案内号、夏号、秋号	各500冊分印刷
問診表等印刷	フジタ歯科様	4000枚
封筒印刷	松本様	400枚
	応援センター様	920枚
	サライ福祉会様	1,000枚

KSKすたこらさん

ねんがじょういんさつ けん 8件 まい 467枚
ねんがじょう けんすう さくねん けん まいすう まいすく ちゅうもん いがい
年賀状の件数が昨年より2件・枚数にして115枚少ない注文となる。それ以外は、
れいねんどお いんさつけんすう
例年通りの印刷件数。

○手芸 作成品

さくひん ことり なふだ てだま てさ かばん
フェルト作品(ブローチ:キノコ、小鳥・ミニツリー、名札)・お手玉、手提げ鞆、
きんちゃく
巾着、カトラリーケース、クールネック、カード入れ、コインケース、マルチケ
ース、スタイ

かくじ す さくせい おおさかしやくしょ はんばい
※各自が好きなものを作製し大阪市役所やトルテにて販売している。
つうじょうかつどうじかん もど よゆう ため じょうねつてき と く
通常活動時間に戻り余裕ができた為、みなさん情熱的に取り組んでいた。

○トルテ

ふくすう じぎょうしょ しょうひん はんばい きやうどう うんえい てんぼ さかいすじほんまち かいさつまえ
複数の事業所が商品をもちより販売。共同で運営する店舗。堺筋本町の改札前
にある。

7、9、10、11、12、2月の6回のみのお店参加になる。昨年より1回少ない。

○大阪市役所販売

れいわ ねん がつ さんかだんたい ひ が おおさかしやくしょ しょうひん はんばい
令和5年3月よりトルテ参加団体が日替わりで大阪市役所ロビーにて商品販売
している。

○イオン イエローレシートキャンペーン

まいつき にちだいにち きやく あつ
毎月11日大日イオンにて、お客さんからイエローレシートを集め、そのレシート
の総額1%分の額をギフトカードにして頂いている。感染対策の為、年に6回
てんとう た きかい もら して い じかん はい きび じかんたい おお かい
店頭に立つ機会を貰ったが指定された時間に入るには厳しい時間帯が多く2回し
はい
か入ることができなかった。

○森田Dr健康相談: 月1回 第4木曜日

かくじ ていきじゆしん いま とく そうだん
各自、ホームドクターとの定期受診があるので、今のところ特に相談はないとい
う方が多い。

がつ めい がつ よぼうせつしゅ めい う
7月に3名、11月にインフルエンザ予防接種を2名が受けた。

○実習体験、見学者: 見学者3名。みなさんご友人で保護者の方。新規利用にはな

らなかった。

ひなんくんれん
○避難訓練

ゆめ風プロジェクト。地域の中学生とコミュニケーションをとり、教室から体育館
まで学生の誘導で避難する。良返屋は参加する機会なし。

おおさかじょがくいん こうし
○大阪女学院にて講師

2名が参加。1人1クラスに入り各自の生活や今までの生きざまなど様々な体験
を話す。

みやこじま く ふく し
○都島区福祉フェスタ

都島区民センターにて開催。都島区にて事業所がメンバー獲得の機会と事業所同士
が横のつながりをもてるようにと顔合わせも含めた事業所説明会。今回も実施さ
れたが時間がなく参加できず。とても残念。

しんわどおりしょうてんかい
○親和通商店会

良返屋のある地域は商店街の一角。その自治への入会協力を求められ12月よ
り入会する。

2ヶ月に1度¥3,000の会費を払う。電燈代金の充当や将来的に防犯カメラ設置
に使われる予定。

さくひんでん
○作品展

芸術とスペース カフェ AKEBI オーナーのご厚意で壁側に作品を展示して貰う。
きちっとした作品展ではないが作品展を見に行きがてら美味しいランチも食べら
れたのでみんな満足していた。

ぎょうじ
5)行事

2023年／4月 お花見(OAP&善源治 楠 公園)・7月 能勢町(大ケヤキ&道の駅
栗の郷能勢)・9月 AKEBI(作品展&ランチ)・10月 奈良県(稲渚の棚田&道の
駅 大田原)・12月 プチクリスマス会・2024年／1月 お参り(都島神社)・2月
お花見&あぶり餅の下見(常照寺&一文字屋和輔)

KSKすたこらさん

6) 会議

良返屋会議 毎月2～3回・運営委員会1回・メンバー関係機関会議 1回
トルテ協議会（ぜんかい屋に時間があるときに参加してもらう）

7) 前年度の目標と評価

○みんなで楽しく1年を過ごす

コロナ対策の徹底・外出行事の増加・外部活動の利用・音楽や体を動かすレクの実施・作品展参加・日々の活動を丁寧にする・コミュニケーションをとる・良返屋販売会や会議フリーマーケットに参加など
→通常時間に戻り1つずつじっくり取組めた。とりわけ手芸にみんな力を入れ作れる喜びを感じた
→1人1人と向き合う時間が増え気付きにもつながった。
→日々の中で、どんな些細な情報でも顔を合わせたスタッフ間の共有が行えた。

○都島区での認知度をあげる

→地域の方と顔見知りになる・良返屋前での販売会（そのための商品作成から）・町ブラ・外部との交流・ポスター作成・パンフレット配布など

○メンバー増員：支援学校や相談支援センターに呼びかける・ポスター作製など

○応援者を募る：今まで参加してくれた人に声をかける・社協に相談する・フェイスブック活用など

→良返屋周辺のお店に行く、地域の回覧板に広告掲載する・散歩する、隣近所との挨拶をもつ、PR動画を撮影しネットに掲載する、ドアに写真付き活動報告新聞やちょっとした記録を貼るなど認知されるよう工夫を行い新たな出会いにつながる取組を行う。が新たな出会いには結びつかず。

○防災について：都島区で起こりうる災害や避難場所を知る・防災グッズを備える・救急の勉強

→避難場所の確認（主に学校、病院）、水害地域を確認・一部、防災品の購入の実施。

6-c. ぜんかい屋 2023年度の報告

コロナ状況も、4年目になった。2023年5月の5類移行の後も感染拡大は続き、インフルエンザも夏ごろから流行したので、引き続き5類移行前からの感染症対策は継続している。

利用時間の制限（前半組・後半組に分けての利用）、活動の制限（外出・外食・会議・行事・外部との交流等の制限）は感染リスクに影響の少ないことについては緩和できる部分は緩和したいところだったが、ここ数年の活動パターン・生活パターンが日常固定化しているため、あまり変わっていないのが実情であった。

人員不足で苦労した前年度から、増員などで改善ができた。ただ、スタッフが心身の体調不良による療養や育児のために休暇を必要とするケースが多かったり、メンバーへの対応が難しいケースがあったりしてベストなパフォーマンスには至っていないのが課題。

より広いスペースへの移転については、良い物件が見つけれず進んでいない。

高齢化もあり健康の不安は、コロナ状況も相まって続いているが、看護師スタッフの充実、医療機関をはじめ各種事業所との連携協力のもと対応している。また、ヘルパーさん不足等による生活環境不安の問題も、相談支援をはじめ連携機関や各種事業所と協力し、できる範囲で対応することはできた。

1) 財政

短時間利用減算のリスクが生じたが、各位との協力で減産は免れた。メンバーの入院や利用日数の減少が少しあったり、生活介護事業の報酬改定による財政悪化への懸念（次年度について）はあったが、何とか1年を通じて赤字にならずに、人件費などをはじめ必要な投資をすることができた。

2) メンバー（敬称略）（2024年3月現在）

【契約利用登録メンバー】

きたぐちえつこ（身体 代表）、たきやまかずや（身体 副代表）、こんどうじゅんこ（身体）
たきやまりか（身体）、やながわふくみ（精神）、つだともこ（身体）、きたうらかずのり（身体）

KSKすたこらさん

ほり えゆうすけ しんたい ちてき むらかみあきら しんたい いとう ふみ え しんたい ちてき
堀江勇介（身体、知的）、村上 晃（身体）、伊東史恵（身体、知的）
エイチ アイ しんたい いち せ ひろゆき ちてき かきもとひとし しんたい たかながひろあき しんたい
H・I（身体）、一瀬裕之（知的）、柿本 等（身体）、高長弘晃（身体）
みなみかつみ ちてき こすぎ ゆうた しんたい
南 勝実（知的）、小杉勇太（身体）

【契約利用登録以外のメンバー】

かなざわのぶゆき しんたい たいちょうふりょう ねんかん かい らいしよ
金沢伸行（身体） 体調不良のため年間で5回ほどの来所であったが、ホーム
ページの管理・更新を在宅ワークで頑張ってくれている。
ほり えたけし しんたい ちてき ちょうきにゆういんちゆう めんかいせいげん ひょういんほうもん
堀江健志（身体、知的） 長期入院中。コロナで面会制限があり病院訪問もあ
まりできていない。
で はししんすけ ちてき ぜんねんど ちょうきにゆういん しゃかいふつき ひがしすみよく
出橋申輔（知的） 前年度に長期入院から社会復帰。東住吉区のグループホーム
で生活中。ぜんかい屋にも来る事ができた。



3) スタッフ（敬称略）（2024年3月現在）

かんりしゃ きたぐちゆきお
管理者……………北口幸男
かんりせきにんしゃ ふくしまよしひろ と だしゅんじろう
サービス管理責任者……………福島義弘、戸田俊二郎
せいかつしえんいん じょうきん さかい たろう たかしまよしゆき
生活支援員（常勤）……………坂井太郎、高島義幸
いと い ま い こ かん ご し もりざわ かおり かん ご し
糸井麻衣子（看護師）、森澤香織（看護師）
いのくち たか こ かん ご し ねん がつ
井ノ口貴子（看護師・2023年8月～）
しのはら すずね きゅうしよくちゅう
篠原鈴音（休職中）
せいかつしえんいん ひじょうきん しも だ か ず や かん だ こう じ
生活支援員（非常勤）……………下田一也、神田孝次
いたくきょうりよくい もり た ま さ ひろ い し
委託協力医……………森田昌宏（医師）

ほか しゃかいほけん ろうむし まつもとしんじ し ぎょうせいしよし かげやまさたけ し ぜいりし あきおかやすし
他に社会保険労務士・松本晋治氏、行政書士・蔭山正剛氏、税理士・秋岡安
氏のサポートを受けている。

4) 応援者（ボランティア）

しょうぎ かた めい しゅう かい しゅげい かた めい しゅう かい
将棋ボランティアの方1名（週1回）、手芸ボランティアの方1名（週1回）

5) 主な作業・活動

しゅげい こうさく
・手芸、工作

さをり織り・ミシン・手縫い・木工など少しづつ。サポートできるスタッフが
増え久しぶりに作品の数が増え、新しい試みも出てきている。手芸ボラン
ティアさんも週一回来てくれるようになったので少し難しいものも久しぶりに
取り組めた。

ちじん じぶん かぞく つか きゅう
知人にプレゼントするものや自分や家族で使うもの、「きたまるしえ（旧ECO
カル）」、「山西福祉記念会館」などで販売するものを制作した。



KSKすたらさん

・パソコン作業

すたらさん編集、名刺印刷（限定受注）、請求事務や会計伝票・日報の打ち込み、手紙やエッセーなど文章作成、調べ物、ネットショッピングなど。

・園芸

作業所付近で草花の育成と美化・清掃。大阪市サポートの園芸ボランティア「北区種花の会」より花の苗の定期提供（年4回）を受けている。中心メンバー柳川さんと一緒にサポートするスタッフが増えた。



・文芸

詩・川柳・俳句の創作など。

・将棋

ボランティアさんの協力の元、部長村上さんを中心に楽しみつつ真剣にレベルアップに努めた。毎週火曜日は本格的な対局と詰将棋の研究。それ以外の日は不定期に他のメンバーも参加して和気あいあいと。



・ ^{か ものしえん} 買い物支援

^{てんじんばしすじしょうてんがい} 天神橋筋商店街や^{はんきやう} 阪急 ^{てんまいちば} オアシス、ドン・キホーテ・^{たまで} 天満市場・スーパー玉出
 といった^{か もの} 買い物スポット、^{わやうちゆう} 和洋中ありとあらゆるジャンル^{めぐ} のグルメスポット
 に^{や たの} 恵まれている^{せいかつようひん} ぜんかい屋。お^{しょうりようひん} 楽^{いるい} し^{じつえき} みの^{しゆみ} ランチ^か テイクアウト、^{さまざま} 生活用品・^{か もの} 食料品・衣類など^た 実益と趣味を兼ねた様々な^た 買い物をサポートしている。

・ ^た その他

^{はなふだ} 花札・^{まーじゃん} 麻雀・^{とう} トランプ・オセロ等のゲーム、^{どうが} パソコン・スマホゲーム・動画・
 アニメ^{かんしょう} 鑑賞・^{けんしょうおうぼ} 懸賞応募など。

・ ^{おおさか} 「大阪ハートフル商店街」^{しょうてんがい}

^{おおさかし} 大阪市の「^{しょうがいしやしえんしせつせいひんはんばいそくしんしえんじぎょう} 障害者支援施設製品販売促進支援事業」の一環での^{いつかん} インターネッ
 トショッピングモール。

・ ^{うんどう} 運動

^{き の う い じ もくてき} リハビリ・ダイエットや機能維持を目的として、^{かんたん} 簡単^{あし あ} にできる^{りつゐ} 足上げや立位
 や^{こてい} 固定^{ある} のリハビリ、^{さんぽ} 歩いたり、^{くるま} 散歩したり、^{じそう} 車いす^{うんどう} で自走したりといった運動
 を^{けいぞく} 継続した。^{くるま} 車いすに乗ったまま^の 計測^{けいぞく} できる^{たいじゅうけい} 体重計も^{どうにゆう} 導入した。

・ ^{けんこうかんり} 健康管理

^{かんごし} 看護師スタッフが^{にん} 3人と^{じゅうじつ} 充実^{たいせい} の体制になった。^{ふくやく} 服薬や^{しよち} 処置、^{すいぶんほきゆう} 水分補給や^{しつない} 室内
 温度や^{おんど} 湿度^{しつど} などの^{かんきやう} 環境^{かんり} の管理といった^{ひび} 日々の^{けんこうじやう} 健康上の^{そうだん} ケア・チェック・相談・
 アドバイス、^{びやうれき} 病歴や^{ふくやく} 服薬、^{つういん} 通院・^{じゆしん} 受診・^{きゆうきゆうたいおうじ} 救急対応時のための^{じやうほうせいり} 情報整理や^{きろく} 記録。
^{いりやうきかん} 医療機関・^{ほうもんかんご} 訪問看護との^{れんけい} 連携^{こうじやう} などが向上している。
^{つきいつかい} 月一回の^{けんこうそうだん} 協力医による^{しゅういつかい} 健康相談。^{ほうもんしか} 週一回の^{こうくう} 訪問歯科による^ひ 口腔ケアも^{つづ} 引き続
 き^{おこな} 行っている。

^{うんどう} 運動や^{けんこうかんり} 健康管理の^{せい} 成果として、^{まいにち} スタッフのサポートで^{じかん} 毎日1時間の^{さんぽ} 散歩を^{がん} 頑
 張り^{けんさすうち} 検査数値が^{おおはば} 大幅に^{かいぜん} 改善したり、^た 食べ物^{もの} を^の かまずに^こ 飲み込んでいた^{ひと} 人が、
 か^{いじやう} むようになつたり、^{せいこう} 5キロ以上の^や ダイエットに成功したり、^{ぜんかい} ぜんかい屋の
 前^{まえ} の^{やく} 約60メートルを^{おうふくいじやう} 30往復以上できる^{ふゆば} ようになつたり、^か 冬場に^ぜ 風邪を^{ひき} ひきに
 く^{ひさ} くなつたり、^ふ 久し^{にゆういん} 振りに^す 入院なしで^{じん} 過ごせた^よ 人など^{けつか} 良い結果が^で 出ている。



KSKすたこらさん

・ 広報

すたこらさん^{さぎょうじょうしん}作業所通信。ホームページ^{うんえい}の運営。

(<https://www.npo-o-center.com> グーグルなどで「ぜんかい屋」^{や けんさく み}検索で見れます)

・ イオン^{きいろ}黄色いレシートキャンペーン (イオン^{ビーアール}P R)

イオン^の野田^だ阪神^{はんしんてんない}店内^ででの P R 活動^{ビーアールかつどう}に 5 回参加^{かいさんか}し 4 万円^{まんえん}ほどの物品^{ぶつぷん}贈呈^{ぞうてい}の助成^{じょせい}を受けた。主に^{おも}衛生用品^{えいせいようひん}・文房具^{ぶんぼうぐ}・ぜんかい^{やない}屋内^{みな}で皆^{みんな}が自由^{じゆう}に飲む^のコーヒー^のやお茶^{ちや}などの消耗品^{しょうもうひん}を^{いただ}頂いた。年度末^{ねんどまつ}に 20 数年^{すうねんかん}間で初めて^{はじ}助成対象^{じょせいたいしょう}としての可否^{かひ}を審査^{しんさ}する面談^{めんだん}があったが、無事^{ぶじ}に今まで通り^{いまま}助成^{じょせい}を受けられることが決^きまった。



・ 「きたまるしえ (旧・ECOかる)」

北^{きた}区^{たく}役所^{やくしょ}前^{まえ}での手芸品^{しゅげいひん}販売^{はんばい}。

・ 作品展^{さくひんてん}への出展^{しゅってん}

BIG-i × Bunkamura アートプロジェクト作品展^{さくひんてん} (第一回^{だいいっかい}) に応募^{おうぼ} (1 名^{めい})。

伊東史恵^{いとうふみえ}さんが絵画^{かいが}「満月^{まんげつ}とウサギ」で応募^{おうぼ}。残念^{ざんねん}ながら 1 次審査^{じしんさ}は通過^{つうか}でき

なかったが、3 月^{がつ}11 日^{にち}～14 日^{にち} 泉ヶ丘^{いみずみ}ビッグバン^{おか}で展示^{てんじ}された。



・ 講師派遣等

ゆめ風基金の柴島中、摂津二中、摂津三中の中学生プロジェクト、大阪女学院
高校講習に参加・協力。早稲田大学学生から自立生活についてのインタビューも受けた（北浦さん）。

・ 生活相談・サポート

作業所および作業所以外の生活にかかわる部分も含め相談
モニタリング・担当者会議などを「Flat・きた」、北区の「ケアサービス ダ
ンデライオン」「よろこび」、淀川区の「えんじょい」などの団体と行った。
65歳を迎え介護保険が始まった人たちが増えてきているので（現在4名）ケ
アマネージャーとの連携も増えてきた。医療機関・訪問看護事業所、役所担当者
やヘルパー派遣事業所との連絡や相談などもサポートした。

・ 健康相談、サポート

定例（月一回）の協力医師による健康相談、看護師スタッフによる日常的
健康チェック・相談・薬の管理、医師とのコミュニケーションのサポート（受診
同行サポート）、訪問口腔ケア（週一回）、コロナワクチンの予約・摂取な
どのサポートなどを実施。訪問看護やリハビリを利用するメンバーさんも増
えている。訪問看護事業所との連携機会も増えている。

・ 研修、勉強会など

メンバー参加の実施なし。

・ 車両について

1台は老朽化が進んでいるので修理が多かったが、サイズなどが送迎時に使
いやすい車なので費用をかけ修理・点検をして使っている。
ヒヤリハットはいくつかあった。また送迎中対車両の事故があったが、けが
はなかった。この事故は相手側の過失によるものだったが、再発防止と安全
運転の徹底に努めたい。

・ 公共トイレに介助用リフト設置を目指す活動

メンバーの近藤順子さんの願いを実現化するために始まったプロジェクト。
ウェブ署名活動を始め、リフトメーカーの「株式会社モリトー」さんにもつ
なげてくれた元職員の西田さんが退職後も携わってくれている。

6) 主な外出イベント・行事

今年度もコロナの為に外出をはじめ、イベントは制約を受けた。
ここ数年秋には実施していたドライブツアーもできなかった。

- 4月 大川周辺へ花見 バリアフリー展
- 5月 特になし
- 6月 特になし
- 7月 特になし
- 8月 どんどこフェスタ (太鼓演奏会)
- 9月 いずみホールクラシックコンサート
- 10月 ゆめ風柴島中避難訓練
- 11月 特になし
- 12月 ゆめ風摂津二中避難訓練
- 1月 初詣 ゆめ風摂津三中避難訓練
- 2月 特になし
- 3月 いずみホールクラシックコンサート



7) 会議・話し合い等

以下の会議は今年度もコロナの為に実施しなかった。

作業所運営会議

ぜんかい屋会議

良返屋・ぜんかい屋合同会議

個人面談

年2回、支援計画づくりの元となるメンバーの面談をサービス管理責任者福島・戸田により実施。

スタッフの個人面談

年間2回を予定していたが1回のみの実施に終わった。

相談支援センター等との相談・会議

「Flat・きた」との特定のメンバー4名のモニタリングケース面談は、月一回実施。北区の「ケアサービスダンデライオン」との特定のメンバー1名とのモニタリングケース会議や相談も月一回実施。もう1名も適宜実施。コロナの為ZOOMも活用しリモートで行うことも多かった。他に必要に応じて「Flat・きた」、「ダンデライオン」、北区「よろこび」、淀川区「えんじょい」、東淀川区「S & D」などの事業所やヘルパー派遣事業所と担当者会議や相談を実施。

8) 前年度目標の評価

○コミュニケーションを大事にする。

→ コミュニケーション不足を補うための会議や面談、研修などがあまりできなかった。

○心身の健康向上に努める。

→ メンバーの健康不安は加齢などもあり増えている。看護師スタッフ（3名）が充実してメンバーの健康管理・ケアがしっかり行われている。一方でスタッフの心身の健康不安も多かった。

KSKすたこらさん

○作業所以外の生活も含め生活面の環境向上を作業所のできる範囲でサポートする。

→ 買い物など日常的な生活の支援が充実してきている。近隣とのトラブルの対応などもサポートできた。相談支援事業所等との連携体制も少しずつ進んできている。

○地域・外部との連携・協力・交流に努める。

→ コロナ状況もあり、多くはなかったが、チャンネルは確保しているといった状況。

○障害者運動（行政などへの働きかけ）に関する活動への参加も増やす。

→ なかなか参加しにくかった。

○経営黒字をキープする。

→ 何とかキープできている。

○作業所の物的・人的な環境の改善を行う。

→ 課題のスタッフ補充はできたが、なかなか全員が常時勤務できる状況にはなっていない。より広いスペースへの転居は難しい。

○長期欠席者・入院者の社会復帰に向けて作業所としてできることをする。

→ 連絡を取り現状を確認することなどには務めたが、入院者への訪問などは難しかった。

○障害者メンバーのやる気・元気・参加度をできるだけ増やし、作業・活動の充実に努める。障害者メンバーの主体性・自由を尊重し、意思、意欲を汲み取り、失敗も含めて自分の経験ができるよう、笑顔で過ごせるよう、程よく寄り添い支えるサポートを心がける。

→ スタッフ増員が叶い、各々の努力が向いている部分の達成・改善はできてきている。今できていない部分の課題面を明らかにし目標をもって改善するようにも持っていきたい。



KSKすたこらさん

7. 決算報告

けっさんあん
決算案について

こんねんどけっさん しょうみざいさん ぞうげんがく まんえん
今年度決算での正味財産の増減額は170万円となっている。
ぜいほうじょう るいせき けっそんあかじがく まんえん ほうじんぜい しはら
税法上における累積の欠損赤字額は181万円となっており、法人税の支払いは
きんとう わ まんえん ねんど けっさん かり くろじ ばあい がく
均等割りの7万円となった。なお、2024年度の決算が仮に黒字の場合、その額
が181万円未満であれば法人税は均等割りとなる予定。

くろじ いじ よういん かいごきゅうふひ よさんたっせいりつ
黒字を維持できた要因としては、介護給付費が98パーセントの予算達成率を
あげられたことが非常に大きいといえる。新規の利用者はいなかったが、長期
のやす ひと ひと くわ おおさかし おおさかふ りんじしえん
のお休みとなる人もほとんどいなかった。加えて大阪市、大阪府からの臨時支援
かね かつ せいかつかいごひしゅうにゅう ねん
金があったことも収入の確保には役立った。結果、生活介護費収入は3年
つづ せんまんえんちよう
続けて5千万円超となった。



ねんどじぎょうけいかく よさんあん
2024年度事業計画および予算案

ねんど じぎょうけいかく
2024年度の事業計画にあたって

1. 教育研修事業
きょういくけんしゅうじぎょう
a) 講師派遣計画
こうしはけんけいかく
b) ゆめ風中学生プロジェクト計画
かぜちゅうがくせい けいかく
2. まちづくり事業
じぎょう
a) まちづくり事業全般の活動目標
じぎょうぜんぱん かつどうもくひょう
b) 障大連・交通部会における取り組み
しょうだいれん こうつうぶかい とく
c) 今後の基本構想の見直しについて
こんご きほんこうそう みなお
3. 広報事業
こうほうじぎょう
4. グループ活動
かつどう
5. 研修等その他活動
けんしゅうなど たかつどう
6. 地域拠点づくり事業（生活介護事業）
ちいききょてん じぎょう せいかつかいごじぎょう
a) 作業所運営会議計画
さぎょうしょうんえいかいぎけいかく
b) 良返屋計画
りょうがえやけいかく
c) ぜんかい屋計画
や けいかく
7. 2024年度 予算案
ねんど よさんあん

2024年度の事業計画にあたって

○センター事業について

昨年度、新型コロナの扱いが5類に引き下げられたが、健康不安を抱える人が多い中、感染のリスクは大きかったのも、応援センターとしても活動の制限をなかなか緩めることは難しかった。そんな中でも、少しずつ今まで控えてきた外出活動や対面での取り組みができそうになってきている。リスクを確認しつつも、できるだけ自由な活動を取り戻していけたらと思う。

○財政面について

生活介護のメンバー数は前年度からは増えていないが、長期欠席などによる大きな減収はなかったのも2023年度は黒字決算であった。

しかし、介護給付費についての改悪があったため今年度の減算は避けられない。全国の障害者の抗議を受けて厚生労働省は減算額が壊滅的にならないように対応を始めているが、どのような形で落ち着くのか状況は不透明だ。

応援センターとしても国の施策に合わせ、翻弄されるだけでなく、障害者の生活のため、微力でも闘う意気込みで、できることをしていきたい。

手狭になり数年来不便になっている事業所のスペースの問題を解消するため引っ越しは、何とか実現化させたいが、物価・地価高騰もあり容易ではない。

まずは、活動を続け、できれば改善・発展させるために必須のスタッフなどの維持が可能であるようにやりくりをしていきたい。



1. 教育研修事業

1-a. 講師派遣事業

障害者を取り巻く社会の実情などについて理解を促す貴重な機会であるので、少しでも障害者の実生活について話しができる機会を多く持てるように調整を考えていきたい。

昨年度は久しぶりに大阪女学院からの依頼が復活し、大阪市立啓発小学校、摂津市立鳥飼北小学校、高槻市阿武山校区オータムフェスタからの依頼もいただき、学生や市民のみなさんに障害者の声を直接届けることができた。今年も派遣できることを期待する。

その他大学等から例年の依頼や新しい依頼があれば積極的に派遣したい。

1-b. ゆめ風中学生プロジェクト

毎年実施できている柴島中と摂津二中に加え、昨年度は摂津三中から、以前摂津二中で経験された先生からの依頼があった。

今年度も今までの取り組みが種となり広がっていくよう、手と手とハウスさんや茨木市ほくせつ24さんら、地域の障害者のみなさんと連携して、防災と障害者について考え行動してくれる人が増えていくように活動していきたい。



まちづくり事業講演計画

a. まちづくり事業全般の活動目標

今後も、『ホーム上の安全対策』や『快適に目的地に行くことができるまちづくりを』、『より快適な公共施設』を、モットーに取り組みたい。
昨年度から区自立支援協議会が中心となって、約20年ぶりに基本構想の見直しを行った4地区(新大阪、大正、天王寺、住之江)があり、それぞれの課題となる箇所が見られ、前回の策定時と街が大きくかわっていることについて見直しを大阪市もやろうとしているが……形だけの見直しに終わってしまう可能性があります。

b. 障大連・交通部会における取り組み

今年度も、2023年度とほぼ同じスケジュールで、引き続きzoom会議が中心となると思われる。北口幸男を派遣し、障大連・交通部会の活動に参加していく予定である。ただし、zoomのリモートは逆に北口以外でも逆に参加しやすい状況でもあり、学習会などにも気軽に参加できる。これを機に作業所メンバーの参加についても声掛けを行っていく。

c. 今後の基本構想の見直しについて

この7月から晩秋にかけては、梅田やなんば、京橋の各地区の見直しを行い、その後二年間かけて、残りの18地区の見直しを行う予定である。
見直し委員会の構成は、各区の基幹相談や自立支援協議会団体が中心となり、学識経験者、各事業者、行政機関等で、幸いにも北区の自立支援協議会に応援センターが入っている為、梅田地区の見直し委員会に福島が入っていくことになっております。

梅田地区は、20年前と街は大きく変化してきており、変なところにエレベーターがあったり、地下でつないだほうがいいのに一旦地上に上がるようにしていることもあり、まだまだバリアフリーなまちにはほど遠いのが現実である。
今年度は、コロナも落ち着き、まち歩きをしていこうと思うので、作業所のメンバースタッフの参加も考えていきたい。

3. 広報委員会計画

今年こそ、なんとか年4回の発行をめざして編集に取り掛かる。引き続き紙面づくりは、事務局とぜんかい屋、良返屋での近況や、メンバーの個性を感じることのできる内容をめざして編集に取り組んでいきたい。印刷は引き続き良返屋でやってもらう。発送作業はぜんかい屋メインとして、その時々によって余裕のありそうな場所であればいいと考えている。

【関定協との関係】

発行経費…部数によって変動（発行一回につき、負担金2,500円程度）
郵便局の定期調査に可能なかぎり協力していく
総会への参加を予定している

4. グループ活動

今年こそ、外出時や大人数でのイベントや行事、食事をとまなう活動の制約を緩めることができそうなので、今まで自粛していた活動に取り組んでいきたい。もちろん感染症対策など怠ることのないように、どうやったらイベントや外出を楽しむことができるのか考えて実施する。

北区役所前で行われている自主製品の即売会「きたまるしえ（旧ecoかる）」へのかわりは継続していく。

また、北区自立支援協議会と日中活動委員会に参加して積極的に発言するようになる。当事者団体としての意見をしっかり意識して発信するように努める。

5. 研修等その他活動（内部研修）

昨年度も内部研修を実施できなかったのですが、今年度はできるかぎり実施できるように努力したい。

KSKすたこらさん

なかなか実施が難しい研修を補うため、各スタッフが手元のスマホやパソコンで配給される動画などを観て研修を受けられるサービスを取り入れてみようと準備している。

また、事業内容・活動にプラスになるような外部で開催される研修会にも積極的に受講参加していけるようにはたらきかけていきたい。



6. 地域拠点づくり事業計画（生活介護事業）

6-a. 2024年度 作業所運営会議計画

コロナ禍以前のような取り組みができるか不透明であるが、その必要性や会議のあり方そのものからあらためて考え直していくようにしたい。以下は参考までにコロナ禍前に行っていたときの概要である。

- ◇ 月一回のペースでの会議の定例開催を実行する。運営上の重要事項の相談・決定や、問題・悩み・トラブルの発見・共有・解決に向けての話し合いに努める。この会議で結論がでない案件については、応援センター運営委員会に提議して解決に向けて討議していく。

【会議日日程（予定）】

コロナ対策として一昨年度から実施できておらず、問題共有にも支障が感じられるので会議再開を検討する。

- ◇ 生活介護事業について制度運用のうえで必要となる人的・制度的・金銭的な重要事項や理念・ミッションについて話し合いを深めていく。

- ◇ 運営会議がフォローアップするもの

- ・ スタッフ会議（個別支援の共有、スタッフ間のコミュニケーション促進）
- ・ 合同連絡会議（ぜんかい屋、良返屋の事業所間での連絡調整）
- ・ メンバーの個人面談（週に一人程度。個別支援計画の作成、見直しの基礎的リサーチ）

- ・ スタッフの個人面談（年間で一人・二回以上）

- ◇ グループ内の協力

- ・ 行事、業務や研修について具体的な実施につながるよう努める。

- ◇ 事業推進におけるコア会議

- ・ モニタリング会議（個別支援計画の新規作成、見直し、評価を行う）

- ◇ 検討課題とビジョン

- ・ 安定した財政を維持するための努力

介護報酬制度の改悪に対する対応、新規利用者の受け入れ

- ・ ぜんかい屋の物件探し

KSKすたこらさん

6-b 良返屋 目標・計画

○みんなで楽しく1年をすごす(色々な活動をする)

コロナ対策の徹底・外出行事の増加・外部活動の利用・音楽や体を動かすレクの実施・作品展参加・日々の活動を丁寧にする・コミュニケーションをとる・良返屋販売会や会議・フリーマーケットに参加など。

○都島区での認知度をあげる

地域の方と顔見知りになる・良返屋前での販売会(その為の商品作成から)・町ブラ・外部との交流

○メンバー増員：支援学校や相談支援センターに呼びかける・ポスター作成など

○応援者を募る：今まで参加してくれた人に声をかける・社協に相談する・フェイスブック活用など

○防災について：都島区での起こりうる災害や避難場所を知る・防災グッズを備える・救急の勉強

○健康に留意する：言葉での訴えが難しい方もいるのでさらなる容姿や気力の観察を心がけ周囲につなげられるようにする。

○外出行事の実施：お花見・道の駅巡り・クリスマス会・夏は避暑地へ行く。

○みんなでイベントがしたい！(1番したいのはBBQ!) By 道子

6-c. ぜんかい屋 2024年度の目標・計画

- コミュニケーションを大事にする。
- 心身の健康向上に努める。
- 作業所以外の生活も含め生活面の環境向上を作業所のできる範囲でサポートする。
- 地域・外部との連携・協力・交流に努める。
- 障害者運動（行政などへの働きかけ）に関する活動への参加も増やす。
- 経営黒字をキープする。
- 作業所の物的・人的な環境の改善を行う。
- 長期欠席者・入院者の社会復帰に向けて作業所としてできることをする。
- 障害者メンバーのやる気・元気・参加度をできるだけ増やし、作業・活動の充実に努める。

◇ 個人の目標 メンバー

- エイチ アイ …… なんでも自分のできることはする。。
- いち せ ひろゆき …… ロミオの青い空のアニタ、フランダースの犬のアロア、リトルグリーモンスターのセリナ！お散歩いっぱいしたいです。
- いとう ふみえ むかし じぶん もど ひとりぐ まんきつ
伊東 史恵 …… 昔の自分に戻りたい。一人暮らしを満喫したい。
- かきもと ひとし …… 200メートル歩けるように頑張る。
- かなざわ のぶゆき がいしゅつ きかい ふ
金沢 伸行 …… 外出の機会を増やしていきたいです。
- きたうら かずのり けんこうだいいち がいしゅつ
北浦 和則 …… 健康第一！また外出ができるようにしたい。

KSKすたこらさん

きたぐち えつこ がいしゅつ
北口 悦子…… 外出など、イベントをしたい！
こすぎ ゆうた や まえ どうろ おうふく
小杉 勇太…… ぜんかい屋の前の道路を40往復できるようにする。
こんどう じゅんこ けんこうだいいち あんぜん す なか よ
近藤 順子…… 健康第一。安全に過ごせますように。みんなと仲良くできますよ
うに。

たかなが ひろあき まえ め からだ き つ
高長 弘晃…… この前コロナでえらい目にあったから、体には気を付けたい。
みんなと楽しんで将棋なりオセロなりをしたいと思います。

たきやま かずや じぶん ひ つか やま けしき み い
瀧山 和也…… 自分の日を使って、山のきれいな景色を見に行きたい。

たきやま りか じぶん いけん い がいしゅつ
瀧山 利加…… 自分の意見をはっきり言う。外出したい！

つだ ともこ ほっさ で えがお かよ
津田 智子…… 発作を出ないようにする。いつも笑顔で通えるように。

ほりえ ゆうすけ ばんごう う こ えんげい ひと まつもとしん じ
堀江 勇介…… 番号の打ち込み。園芸。あの人は松本晋治さん！

みなみ かつみ げつ きん お や がんば
南 勝実…… 月・金とシュレッダーとハンコ押しをぜんかい屋で頑張って、
午後から図書館で読書をしたいのが目標です。

むらかみ あきら しょうぎ なかま たかつき しんかんさいしょうぎかい かん い ふじいくん
村上 晃…… 将棋の仲間たちで高槻にできる新関西将棋会館に行ったら藤井君
に会う！

やながわ ふくみ きょねん はくないしょう りょうめ しゅじゅつ とし まつ けんこう
柳川 福美…… 去年は白内障にかかり両目を手術しました。その年の末は健康
管理がうまくいかず、不自由に足が動くことなく手押し車で歩
いてました。2回も入院を繰り返し3回も入院したので今年は
ヘルパーさんと仲良くします。体はあまり動くことが無理にな
ったので動けるようにがんばり、自分をもっと大事にしてぜんか
い屋に来れるようがんばります。ゆっくり歩いていきます。頑張
っていきます。ゆっくりと。

◇ 個人の目標 スタッフ

いのくちたかこ いっしょ か い じ
井ノ口貴子…… みんなと一緒にきれいな花だんを維持する。

いといまいこ けんこう き ひ び しごと がんば
糸井麻衣子…… 健康に気をつけながら日々の仕事を頑張る。

かんだ こうじ や あさ がつ こし
神田 孝次…… ぜんかい屋のスタッフになって、まだまだ浅いですが、2月に腰
の手術をして、お休みをもらい、ご迷惑をかけ身体の大切さを分
かりました。これから無理をせずにメンバー様と楽しく（花見、
イベント等）過ごしていきたいと思います。よろしくお願い致し
ます。

きたぐち ゆきお わ みち
北口 幸男…… 我が道をゆく。

しもだ かずや こころ からだ けんこう かんが しごと
下田 一也…… 心と体の健康を考えながら仕事をする。

さかい たろう けんこうだいいち がん ば
坂井 太郎…… 健康第一で頑張る！！

しのはら すずね きゆうしよくちゆう
篠原 鈴音…… (休職中)

たかしま よしゆき ひとりひとり もくひょう たの しえん
高島 義幸…… 一人一人のメンバーの目標や楽しみを支援していく。

とだ しゅんじろう ゆうせんじゅんい かんが しごと いま はっそう かんしゆう か
戸田俊二郎…… 優先順位を考えて仕事をする。今までの発想・慣習を変えて
試行錯誤してみる。

ふくしま よしひろ か いご こうしゅうかい じつげん きょねん い ねざ
福島 義弘…… 介護リフト講習会を実現させる。去年行けなかった「寝覚めの
床」を見に行く。

もりざわ かおり しごと べんきょう りょうりつ たいちようかんり
森澤 香織…… 仕事も勉強も両立させる。体調管理。



7. 予算計画

予算案について

1) 生活介護給付費

介護給付費の見直しによる改定があり、短時間利用の減収が30パーセントを超えるものが発表された。これは予算どころの話ではなく、応援センターそのものの存続が難しい事態である。これは他の生活介護事業所にもいえることであり、障大連をはじめ全国から厚労省へ問い合わせが相次いだようだ。結果、いくつかの配慮が示され、減収の幅をできるだけ小さくするような施策が追加で発表された。また、応援センターの場合、看護師資格の職員が多くいるのでその分の加算も昨年より多く請求することができそう。ただし、まだ報酬改定がなされた直後のため、どれだけの金額になるかわからない部分が多い。そのため予算としては人件費のベースアップも考慮していることもあり、赤字予算を組まざるを得なかった。状況をしっかりと見極めていく一年となりそう。



だい ごうぎ あん やくいん かいせん
第3号議案 役員の改選について

とくてい ひ え い り かつどう ほうじん こうどう しょうがいしゃおうえん ていかん
 特定非営利活動法人おおさか行動する障害者応援センターの定款にもとづ
 つぎ り じ せん にん て つづ おこな
 き次のとおり理事の選任手続きを行う。

【再任】

り じ 事	さ さ き	やす ゆき	だい ひょう
	佐々木	康 至	(代 表)
	よ な みね	つかさ	ふくだいひょう
	與那嶺	司	(副代表)
	うじ た	ゆう じ	かい けい
	氏 田	祐 資	(会 計)
	い とう	ふみ え	
	伊 東	史 恵	
	かさ はら	ゆ き え	
	笠 原	由紀恵	
	きた ぐち	えつ こ	
	北 口	悦 子	
	きた ぐち	ゆき お	
	北 口	幸 男	
	した だ	かず や	
	下 田	一 也	
	ふく もと	ち なつ	
	福 本	千 夏	
	ふく しま	よし ひろ	
	福 島	義 弘	
	まき ぐち	いち じ	
	牧 口	一 二	
監 事	つじ 辻	いく こ	
	きつ たか	ち あき	
	橘 高	千 秋	

てきよう ていかんこうもく か せん ぶ ぶん
 ◇適用する定款項目（下線部分）

やくいん しゅるいおよ ていすう
 （役員の種類及び定数）

だい じょう
 第11条

- 1 本会には、次の役員を置く。
 - 1) 運営委員 10名以上20名以内
 - 2) 監事 2名以上 4名以内
- 2 運営会員のうち1名を代表とし、1～3名の副代表を置く。
- 3 本会には、役員のほかに5人以内のアドバイザーを置くことができる。
- 4 運営委員をもって特定非営利活動促進法上の理事とする。

せんにとう
(選任等)

だい じょう
第12条

- 1 運営委員は、総会において正会員のうちから選任する。
- 2 代表、副代表は、運営委員会において互選によって定め、総会において承認する。
- 3 監事は、総会で選任する。
- 4 監事は、運営委員または本会の職員を兼ねることができない。
- 5 アドバイザーは、運営委員会において推薦し、総会において承認する。
- 6 役員のうちそれぞれの役員について、その配偶者もしくは三親等以内の親族が1人を超えて含まれ、または当該役員ならびにその配偶者及び三親等以内の親族が役員総数の3分の1を超えてはならない。

にん き など
(任期等)

だい じょう
第14条

- 1 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 2 補欠または増員により選任された役員の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者又は他の現任者の残任期間とする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、任期の末日において後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を延長する。
- 4 役員は、辞任または任期満了の後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

2023年度 財 務 諸 表

2024年度総会資料

2023年4月1日から 2024年3月31日まで

- 1 活 動 計 算 書
- 2 貸 借 対 照 表
- 3 財 務 諸 表 の 注 記
- 4 財 産 目 録
- 5 2023 年 度 決 算 案 & 2024 年 度 予 算 案

特定非営利活動法人おおさか行動する障害者応援センター

KSKすたこらさん

(名称) 特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター
活動計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科目		金額	
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	69,000		
障害者受取会費	43,000		
応援者受取会費	40,000		
声援者受取会費	0	152,000	
2 受取寄付金			
街頭募金	0		
一般寄付金	22,500		
会員カンパ	20,000	42,500	
3 受取助成金等			
大阪府物価高騰対策支援金	274,000		
社会福祉施設補助金	54,000	328,000	
4 事業収益			
生活介護給付費	47,459,520		
利用者負担金	88,800		
処遇改善加算金	2,092,927		
特別処遇改善加算金	665,878		
ベースアップ等支援	523,168		
生産活動収益金	150,911		
行事参加収益	0		
各団体調整事業収益	0		
教育研修事業収益	403,300		
まちづくり事業収益	0		
広報事業収益	11,000		
イベント交流事業収益	3,676		
調査研究事業収益	0		
その他事業収益	2,000	51,401,180	
5 その他収益			
受取利息	202		
雑収益	0	202	
経常収益合計			51,923,882
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
常勤職員給料	21,226,156		
非常勤職員給料	4,926,127		
各種手当	5,437,666		
生産活動還元金	140,800		
法定福利費	4,794,324		
福利厚生費	58,702		
退職給付費用	462,000		
人件費計	37,045,775		
(2) その他経費			
各団体調整事業費	0		
教育研修事業費	24,000		
まちづくり事業費	0		
広報事業費	34,315		
イベント交流事業費	0		
その他事業費	869,321		
材料費	87,197		
旅費交通費	53,800		
通信費	440,170		
消耗品費	146,494		
消耗備品費	189,800		
事務用品費	0		
保守整備費	672,077		

	賃借料	5,222,536		
	保険料	419,510		
	水道光熱費	525,098		
	車両関係費	1,547,537		
	運営経費	23,600		
	委託料	1,884,300		
	印刷費	0		
	会議費	0		
	行事関係経費	109,057		
	租税公課	0		
	諸会費	8,400		
	研修費	0		
	支払手数料	17,530		
	減価償却費	106,026		
	支払利息	0		
	雑費	47,322		
	その他経費計	12,428,090		
	事業費合計		49,473,865	
2	管理費			
(1)	人件費			
	常勤職員給料	0		
	人件費計	0		
(2)	その他経費			
	各団体調整事業費	0		
	教育研修事業費	320,000		
	まちづくり事業費	5,300		
	広報事業費	111,962		
	イベント交流事業費	4,180		
	旅費交通費	113,686		
	通信費	51,208		
	消耗品費	2,690		
	消耗備品費	0		
	事務用品費	4,803		
	保険料	3,300		
	運営経費	0		
	印刷費	9,740		
	会議費	0		
	租税公課	0		
	諸会費	34,175		
	研修費	2,000		
	支払手数料	11,757		
	雑費	0		
	その他経費計	674,801		
	管理費合計		674,801	
	経常費用合計			50,148,666
	当期経常増減額			1,775,216
III	経常外収益			
1	固定資産売却益		0	
2	過年度損益修正益		0	
	経常外収益合計			0
IV	経常外費用			
1	固定資産売却損		0	
2	固定資産除却損		0	
3	過年度損益修正損		0	
	経常外費用合計			0
	税引き前当期正味財産増減額			1,775,216
	法人税等			70,000
	当期正味財産増減額			1,705,216
	前期繰越正味財産額			23,756,921
	次期繰越正味財産額			25,462,137

ＫＳＫすたこらさん

(名称) 特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額	
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,341,662		
未収入金	8,111,795		
立替金	199,496		
流動資産合計		20,652,953	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具	1		
工具器具備品	212,373		
有形固定資産計	212,374		
(2) 投資その他の資産			
敷金	375,000		
長期前払費用	10,630		
固定性預金	6,225,556		
投資その他の資産計	6,611,186		
固定資産合計		6,823,560	
資産合計			27,476,513
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,100		
未払法人税等	70,000		
預り金	996,226		
流動負債合計		1,067,326	
2. 固定負債			
長期借入金	600,000		
長期預り金	347,050		
固定負債合計		947,050	
負債合計			2,014,376
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		23,756,921	
当期正味財産増減額		1,705,216	
正味財産合計			25,462,137
負債及び正味財産合計			27,476,513

(名称) 特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター

財務諸表の注記

2023年4月1日から2024年3月31日まで

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

ただし建物は法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税は税込経理によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	No.1 (単位:円)					
	生活介護 ぜんかい屋			生活介護 良返屋		
	生活介護事業	生産活動	ぜんかい屋合計	生活介護事業	生産活動	良返屋合計
I. 経常収益						
1 受取会費						
正会員受取会費			0			0
障害者受取会費			0			0
応援者受取会費			0			0
声援者受取会費			0			0
2 受取寄付金						
街頭募金			0			0
一般寄付金	22,500		22,500			0
会員カンパ			0			0
3 受取助成金等						
大阪府物価高騰対策支援金	274,000		274,000			0
社会福祉施設補助金	54,000		54,000			0
4 事業収益						
生活介護給付費	36,583,962		36,583,962	10,875,558		10,875,558
利用者負担金	65,100		65,100	23,700		23,700
処遇改善加算金	1,612,674		1,612,674	480,253		480,253
特別処遇改善加算金	513,083		513,083	152,795		152,795
ベースアップ等支援	403,118		403,118	120,050		120,050
生産活動収益金		40,575	40,575		109,386	109,386
行事参加収益			0			0
各団体調整事業収益			0			0
教育研修事業収益			0			0
まちづくり事業収益			0			0
広報事業収益			0			0
イベント交流事業収益	3,676		3,676			0
調査研究事業収益			0			0
その他事業収益	2,000		2,000			0
5 その他収益						
受取利息	54		54	36		36
雑収益			0			0
経常収益計	39,534,167	40,575	39,574,742	11,652,392	109,386	11,761,778
II. 経常費用						
(1) 人件費						
常勤職員給料	18,251,656		18,251,656	2,974,500		2,974,500
非常勤職員給料	3,802,197		3,802,197	1,123,930		1,123,930
各種手当	4,013,753		4,013,753	1,423,913		1,423,913
生産活動還元金		95,000	95,000		45,800	45,800
法定福利費	4,794,324		4,794,324	0		0
福利厚生費	51,337		51,337	7,365		7,365
退職給付費用	462,000		462,000	0		0
人件費計	31,375,267	95,000	31,470,267	5,529,708	45,800	5,575,508
(2) その他経費						
各団体調整事業費	0		0	0		0
教育研修事業費	24,000		24,000	0		0
まちづくり事業費	0		0	0		0
広報事業費	0		0	0		0
イベント交流事業費	0		0	0		0
その他事業費	869,321		869,321	0		0
材料費		26,043	26,043		61,154	61,154
旅費交通費	42,460		42,460	11,340		11,340
通信費	287,542		287,542	152,258		152,258
消耗品費	137,763		137,763	8,731		8,731
消耗備品費	149,174		149,174	40,626		40,626
事務用品費	0		0	0		0
保守整備費	355,524		355,524	316,553		316,553

KSKすたこらさん

賃借料	2,865,400		2,865,400	2,357,136		2,357,136
保険料	362,360		362,360	57,150		57,150
水道光熱費	379,780		379,780	145,318		145,318
車両関係費	1,510,817		1,510,817	36,720		36,720
運営経費	0		0	23,600		23,600
委託料	1,884,300		1,884,300	0		0
印刷費	0		0	0		0
会議費	0		0	0		0
行事関係経費	28,048		28,048	81,009		81,009
租税公課	0		0	0		0
諸会費	0		0	8,400		8,400
研修費	0		0	0		0
支払手数料	6,530		6,530	11,000		11,000
減価償却費	0		0	106,026		106,026
支払利息	0		0	0		0
雑費	36,664		36,664	10,658		10,658
その他経費計	8,939,683	26,043	8,965,726	3,366,525	61,154	3,427,679
経常費用計	40,314,950	121,043	40,435,993	8,896,233	106,954	9,003,187
当期経常増減額	△ 780,783	△ 80,468	△ 861,251	2,756,159	2,432	2,758,591

No.2 (単位:円)				
科目	一般事業	事業部門合計	管理部門	総合計
I. 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取会費		0	69,000	69,000
障害者受取会費		0	43,000	43,000
応援者受取会費		0	40,000	40,000
声援者受取会費		0	0	0
2 受取寄付金				
街頭募金		0	0	0
一般寄付金		22,500	0	22,500
会員カンパ		0	20,000	20,000
3 受取助成金等				
大阪府物価高騰対策支援金		274,000	0	274,000
社会福祉施設補助金		54,000	0	54,000
4 事業収益				
生活介護給付費		47,459,520	0	47,459,520
利用者負担金		88,800	0	88,800
処遇改善加算金		2,092,927	0	2,092,927
特別処遇改善加算金		665,878	0	665,878
ベースアップ等支援		523,168	0	523,168
生産活動収益金		149,961	950	150,911
行事参加収益		0	0	0
各団体調整事業収益		0	0	0
教育研修事業収益	403,300	403,300	0	403,300
まちづくり事業収益		0	0	0
広報事業収益	11,000	11,000	0	11,000
イベント交流事業収益		3,676	0	3,676
調査研究事業収益		0	0	0
その他事業収益		2,000	0	2,000
5 その他収益				
受取利息		90	112	202
雑収益		0	0	0
経常収益計	414,300	51,750,820	173,062	51,923,882
II. 経常費用				
(1) 人件費				
常勤職員給料		21,226,156	0	21,226,156
非常勤職員給料		4,926,127	0	4,926,127
各種手当		5,437,666	0	5,437,666
生産活動還元金		140,800	0	140,800
法定福利費		4,794,324	0	4,794,324
福利厚生費		58,702	0	58,702
退職給付費用		462,000	0	462,000
人件費計	0	37,045,775	0	37,045,775
(2) その他経費				
各団体調整事業費		0	0	0
教育研修事業費		24,000	320,000	344,000
まちづくり事業費		0	5,300	5,300
広報事業費	34,315	34,315	111,962	146,277
イベント交流事業費		0	4,180	4,180
その他事業費		869,321	0	869,321
材料費		87,197	0	87,197

旅費交通費		53,800	113,686	167,486	
通信費	370	440,170	51,208	491,378	
消耗品費		146,494	2,690	149,184	
消耗備品費		189,800	0	189,800	
事務用品費		0	4,803	4,803	
保守整備費		672,077	0	672,077	
賃借料		5,222,536	0	5,222,536	
保険料		419,510	3,300	422,810	
水道光熱費		525,098	0	525,098	
車両関係費		1,547,537	0	1,547,537	
運営経費		23,600	0	23,600	
委託料		1,884,300	0	1,884,300	
印刷費		0	9,740	9,740	
会議費		0	0	0	
行事関係経費		109,057	0	109,057	
租税公課		0	0	0	
諸会費		8,400	34,175	42,575	
研修費		0	2,000	2,000	
支払手数料		17,530	11,757	29,287	
減価償却費		106,026	0	106,026	
支払利息		0	0	0	
雑費		47,322	0	47,322	
その他経費計		34,685	12,428,090	674,801	13,102,891
経常費用計		34,685	49,473,865	674,801	50,148,666
当期経常増減額		379,615	2,276,955	△ 501,739	1,775,216

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は、25,462,137円ですが、使途が制約されている財産はありません。

(単位:円)

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備 考
物価高騰対策支援金	0	274,000	274,000	0	大阪府より
社会福祉施設補助金	0	54,000	54,000	0	大阪府より
合 計	0	328,000	328,000	0	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	3,066,500	0	0	3,066,500	3,066,499	1
工具器具備品	1,823,600	0	0	1,823,600	1,611,227	212,373
合 計	4,890,100	0	0	4,890,100	4,677,726	212,374

KSKすたこらさん

(名称) 特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター

財産目録

2024年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金			
事務局 手元現金	29,842		
生活介護事業所 良返屋 手元現金	101,125		
生活介護事業所 ぜんかい屋 手元現金	118,653		
郵便振替口座	506,236		
普通預金			
関西みらい銀行天神橋筋支店 事務局	280,751		
関西みらい銀行天神橋筋支店 事務局	112,460		
近畿労働金庫梅田支店 事務局	299,105		
関西みらい銀行天神橋筋支店 良返屋	3,761,079		
三井住友銀行天神橋支店 良返屋	2,014,501		
関西みらい銀行天神橋筋支店 良返屋	141,200		
関西みらい銀行天神橋筋支店 ぜんかい屋	4,976,710		
現金預金合計		12,341,662	
未収入金			
生活介護給付費 2, 3月分	8,111,795		
サービス継続支援事業補助金	0		
未収入金合計		8,111,795	
立替金			
職員立替金	199,496		
立替金合計		199,496	
流動資産合計			20,652,953
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具			
キャババンチェアキャブ	1		
車両運搬具合計	1		
工具器具備品			
印刷機	1		
リソグラフ	1		
床走行式リフト・ベルト	212,371		
工具器具備品合計	212,373		
有形固定資産計		212,374	
(2) 投資その他の資産			
敷金			
敷金	375,000		
敷金合計	375,000		
長期前払費用			
リサイクル預託金	10,630		
長期前払費用合計	10,630		
固定性預金			
固定性定期預金	6,225,556		
固定性預金合計	6,225,556		
投資その他の資産計		6,611,186	
固定資産合計			6,823,560
資産合計			27,476,513

Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
NTTコミュニケーションズ	1,100		
未払金合計	1,100		
未払法人税等			
未払法人税等	70,000		
未払法人税等合計	70,000		
預り金			
源泉所得税預り金	△ 230,229		
徴収住民税預り金	56,781		
社会保険料預り金	706,524		
雇用保険預り金	458,150		
その他預り金	5,000		
預り金合計	996,226		
流動負債合計		1,067,326	
2. 固定負債			
長期借入金			
関西みらいげんかい屋	600,000		
長期借入金合計	600,000		
長期預り金			
職員積立金	347,050		
長期預り金合計	347,050		
固定負債合計		947,050	
負債合計			2,014,376
正味財産			25,462,137

KSKすたこらさん

(名称) 特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター

収益事業損益計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位: 円)

科目	合計	非収益事業	収益事業	備考
I 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取会費	69,000	69,000	0	
障害者受取会費	43,000	43,000	0	
応援者受取会費	40,000	40,000	0	
声援者受取会費	0	0	0	
2 受取寄付金				
一般寄付金	22,500	22,500	0	
会員カンパ	20,000	20,000	0	
3 受取助成金等				
大阪府物価高騰対策支援金	274,000	0	274,000	
社会福祉施設補助金	54,000	0	54,000	
4 事業収益				
生活介護給付費	47,459,520	0	47,459,520	
利用者負担金	88,800	0	88,800	
処遇改善加算金	2,092,927	0	2,092,927	
特別処遇改善加算金	665,878	0	665,878	
ベースアップ等支援	523,168	0	523,168	
生産活動収益金	150,911	150,911	0	生産活動を除く
教育研修事業収益	403,300	403,300	0	一般事業を除く
広報事業収益	11,000	11,000	0	一般事業を除く
イベント交流事業収益	3,676	0	3,676	
その他事業収益	2,000	0	2,000	
5 その他収益				
受取利息	202	112	90	管理部門を除く
雑収益	0	0	0	管理部門を除く
経常収益合計	51,923,882	759,823	51,164,059	
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費				
常勤職員給料	21,226,156	0	21,226,156	
非常勤職員給料	4,926,127	0	4,926,127	
各種手当	5,437,666	0	5,437,666	
生産活動還元金	140,800	140,800	0	生産活動を除く
法定福利費	4,794,324	0	4,794,324	
福利厚生費	58,702	0	58,702	
退職給付費用	462,000	0	462,000	
人件費計	37,045,775	140,800	36,904,975	
(2) その他経費				
教育研修事業費	24,000	0	24,000	
広報事業費	34,315	34,315	0	一般事業を除く
その他事業費	869,321	0	869,321	
材料費	87,197	87,197	0	生産活動を除く
旅費交通費	53,800	0	53,800	
通信費	440,170	370	439,800	一般事業を除く
消耗品費	146,494	0	146,494	
消耗備品費	189,800	0	189,800	
保守整備費	672,077	0	672,077	
賃借料	5,222,536	0	5,222,536	
保険料	419,510	0	419,510	
水道光熱費	525,098	0	525,098	
車両関係費	1,547,537	0	1,547,537	

運営経費	23,600	0	23,600	
委託料	1,884,300	0	1,884,300	
諸会費	8,400	0	8,400	
行事関係経費	109,057	0	109,057	
支払手数料	17,530	0	17,530	
減価償却費	106,026	0	106,026	
雑費	47,322	0	47,322	
その他経費計	12,428,090	121,882	12,306,208	
事業費合計	49,473,865	262,682	49,211,183	
2 管理費				
(1) 人件費				
常勤職員給料	0	0	0	
人件費計	0	0	0	
(2) その他経費				
教育研事業費	320,000	4,683	315,317	収入比により按分
まちづくり事業費	5,300	78	5,222	収入比により按分
広報事業費	111,962	1,638	110,324	収入比により按分
イベント交流事業費	4,180	61	4,119	収入比により按分
旅費交通費	113,686	1,664	112,022	収入比により按分
通信費	51,208	749	50,459	収入比により按分
消耗品費	2,690	39	2,651	収入比により按分
事務用品費	4,803	70	4,733	収入比により按分
保険料	3,300	48	3,252	収入比により按分
印刷費	9,740	143	9,597	収入比により按分
諸会費	34,175	500	33,675	収入比により按分
研修費	2,000	29	1,971	収入比により按分
支払手数料	11,757	172	11,585	収入比により按分
雑費	0	0	0	収入比により按分
その他経費計	674,801	9,874	664,927	
管理費合計	674,801	9,874	664,927	
経常費用合計	50,148,666	272,556	49,876,110	
当期経常増減額	1,775,216	487,267	1,287,949	
Ⅲ 経常外費用				
1 過年度損益修正損	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	1,775,216	487,267	1,287,949	
法人税等	70,000	0	70,000	
当期正味財産増減額	1,705,216	487,267	1,217,949	
前期繰越正味財産額	23,756,921	16,678,073	7,078,848	
次期繰越正味財産額	25,462,137	17,165,340	8,296,797	

おおさか行動する障害者応援センター 2023年度決算案・2024年度予算案

2024年3月31日 現在暫定 単位：円

	2023年度 予算	2023年度 決算案	2024年度 予算案	備考
【損益計算部門】				
収入の部 合計	53,148,000	51,923,882	53,148,000	
支出の部 合計	53,137,980	50,218,666	54,999,020	
収支の差	10,020	1,705,216	▲1,851,020	経常損益
収入の部				
正会員費	100,000	69,000	100,000	事務局
障害者会員費	20,000	0	20,000	事務局
応援者会員費	30,000	43,000	30,000	事務局
声援者会員費	100,000	40,000	100,000	事務局
(受取会費)	250,000	152,000	250,000	
街頭募金	0	0	0	
一般寄附金	100,000	22,500	100,000	
会員カンパ	80,000	20,000	80,000	
(受取寄付金)	180,000	42,500	180,000	
補助金	0	54,000	0	
助成金	0	274,000	0	
生活介護給付費	51,953,000	50,741,493	51,953,000	一日平均14名、月20日開所想定
生活介護	48,600,000	47,459,520	48,600,000	
処遇改善	2,138,000	2,092,927	2,138,000	
特定処遇改善	680,000	665,878	680,000	2020年12月分より取得
ペースアップ等支援	535,000	523,168	535,000	2022年10月分より取得
その他	0	0	0	2022年2月分より9月分まで特例交付金
利用者負担金	150,000	88,800	150,000	
行事参加費	150,000	23,700	150,000	生活介護事業
その他	0	65,100	0	介護費自己負担分
生産活動収益	205,000	150,911	205,000	
手芸	40,000	22,515	40,000	生活介護事業
印刷	160,000	128,396	160,000	生活介護事業
その他	5,000	0	5,000	生活介護事業
各団体調整事業収益	0	0	0	
教育研修事業収益	350,000	403,300	350,000	センター事業
まちづくり事業収益	10,000	0	10,000	センター事業
広報事業収益	30,000	11,000	30,000	センター事業
イベント交流事業収益	20,000	3,676	20,000	センター事業
調査研究事業費	0	0	0	センター事業
その他事業収益	0	2,000	0	センター事業
(事業収益)	52,718,000	51,729,180	52,718,000	
受取利息		202		
雑収益		0		
(その他収益)	0	202	0	
受取利息	0	0	0	
(営業外の収益)	0	0	0	
収入の部合計	53,148,000	51,923,882	53,148,000	
支出の部				
常勤職員給料	26,390,000	21,226,156	28,154,000	
非常勤職員給料	4,889,720	4,926,127	5,427,200	
各種手当	2,942,820	5,437,666	3,122,820	
生産活動還元金費	100,000	140,800	100,000	
法定福利費	5,835,440	4,794,324	6,000,000	
福利厚生費	70,000	58,702	70,000	
退職給付費用	576,000	462,000	576,000	
(人件費)	40,803,980	37,045,775	43,450,020	生活介護事業
生産活動材料費	120,000	87,197	120,000	
手芸	10,000	9,494	10,000	生活介護事業
印刷	100,000	71,839	100,000	生活介護事業
その他	10,000	5,864	10,000	生活介護事業
各団体調整事業費	0	0	0	センター事業
教育研修事業費	250,000	344,000	250,000	センター事業
まちづくり事業費	3,000	5,300	3,000	センター事業
広報事業費	150,000	146,277	150,000	センター事業
イベント事業費	5,000	4,180	5,000	センター事業
調査研究事業費	10,000	0	0	センター事業
その他事業費	600,000	869,321	10,000	センター事業

おおさか行動する障害者応援センター 2023年度決算案・2024年度予算案

旅費交通費	150,000	53,800	150,000	センター事業
通信費	375,000	440,170	375,000	
電話・ネット	360,000	422,771	360,000	
通信・運搬	15,000	17,399	15,000	
消耗品費	180,000	146,494	150,000	
消耗備品費	80,000	189,800	70,000	
保守整備費	250,000	672,077	250,000	
賃貸料	5,200,000	5,222,536	5,200,000	
家賃	4,500,000	4,500,000	4,500,000	生活介護事業
駐車場	700,000	722,536	700,000	生活介護事業
保険料	300,000	419,510	300,000	生活介護事業
水道光熱費	590,000	525,098	580,000	
電気	520,000	439,813	520,000	生活介護事業
ガス	20,000	22,568	20,000	生活介護事業
水道	50,000	62,717	40,000	生活介護事業
車両関係費	1,530,000	1,547,537	1,530,000	
車両整備	500,000	332,574	500,000	生活介護事業
ガソリン	1,000,000	1,095,857	1,000,000	生活介護事業
その他	30,000	119,106	30,000	
運営経費	10,000	23,600	200,000	生活介護事業
委託料	1,800,000	1,884,300	1,750,000	協力医等の顧問料
印刷費	30,000	0	25,000	生活介護事業
会議費	0	0	0	
行事関係経費	100,000	109,057	80,000	生活介護事業
租税公課	0	0	0	生活介護事業
諸会費	35,000	8,400	35,000	
研修費	60,000	0	50,000	キャリアパス経費含む
支払手数料	20,000	17,530	20,000	生活介護事業
減価償却費	0	106,026	0	生活介護事業
雑費	100,000	47,322	20,000	
支払利息	0	0	0	
（その他経費）	11,948,000	12,869,532	11,323,000	
（事業費）	52,751,980	49,915,307	54,773,020	
常勤職員給料	0	0	0	
非常勤職員給料	0	0	0	事務局
各種手当	0	0	0	事務局
法定福利費	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
（人件費）	0	0	0	
旅費交通費	96,000	113,686	96,000	事務局
通信費	30,000	51,208	25,000	事務局
減価償却費	0	0	0	事務局
保険料	0	3,300	0	事務局
印刷費	20,000	9,740	15,000	事務局
会議費	5,000	0	5,000	事務局
消耗品費	0	2,690	0	事務局
消耗備品費	0	0	0	事務局
租税公課	0	0	0	事務局
事務用品費	0	4,803	0	事務局
支払手数料	10,000	11,757	10,000	事務局
諸会費	0	34,175	0	事務局
雑費	5,000	0	5,000	事務局
研修費	0	2,000	0	事務局
（管理費）	166,000	233,359	156,000	
支払利息	0	0	0	
雑損失	0	0	0	
法人税等	70,000	70,000	70,000	
予備費	150,000	0	0	
過年度損益修正損	0	0	0	確定済決算の修正処理
（営業外の支出）	220,000	70,000	70,000	
支出の部合計	53,137,980	50,218,666	54,999,020	

監査報告書

2023年度における特定非営利活動法人おおさか行動する障害者応援センターの事業内容および会計状況について、関係帳簿等を慎重に審査したところ、適正であることを認めます。

2024年6月8日

監事

橋高千枝



2024年6月8日

監事

辻 郁子



特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター 代表者 佐々木 康至 様

KSKすたこらさん

■質疑応答などのダイジェスト

<監査報告について>

監事の辻さん：事業報告をうかがってコロナの状況などもある中、健全な内容で問題ないと監査させていただきました。

監事の橋高さん：赤字予算は残念だが、みんなでしっかり共有して乗り越えてください。

<高槻のオータムフェスタについて>

企画発案者の一人である吉田さん：株式会社「かりゆし」の吉田と言います。福島さんや村上さんの訪問介護サービスにも入らせていただいています。もともと僕がPTAの副会長をさせていただいていた阿武山小学校の会長から昨年11月に実施予定のオータムフェスタの相談を受けており、福島さんに相談し企画段階から協力いただき、手と手とハウスのみなさんや村上さんにも協力いただき実施することができました。この場を借りて御礼申し上げます。感想なんですが、小学生50名ほど、親御さんにも参加いただき、福島さんにクイズなど、村上さんは校内外を子供たちに車いすを押す体験などで協力いただきました。こういった機会がまた応援センターのみなさんとできればと思います。今後どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

福島：外部の人とつながって活動できるってことは本当に楽しい事やなと感じています。また今年も新しい出会いがあればと思っています。

<モリトーさんとの取り組みについて>

協力者の西田さん：元職員の西田です。今後も近藤さん、モリトーさん、福島さんと進めていきたいのでよろしくお願い致します。（福島の体調不良で中断中の取り組みについて）ところでバリアフリー展でモリトーさんに会われたんですか？

福島：バリアフリー展で近藤さんと一緒にモリトーさんのブースを尋ね、森島会長とも会え、喜んでもらえました。（福島の）体調が改善したら引き続き進めましようと言ってもらいました。

西田：インスタグラムでも見ました。摂津の避難所の件についても話されました？

福島：森島会長から摂津市に問い合わせをされたそうです。具体的には聞いていませんが…。

西田：また会合ができれば状況を聞きたいですね。

おおさか行動する障害者応援センター 趣意書

● 共通の未来に向かって……

おおさかには、さまざまな人が生きています。けれども、ひとりひとは孤独です。支えあっている実感がなく、ひとりで突っ張っています。私たちは、できれば素直でありたい。率直でありたい。少し勇気が足りないようです。ちょっとでも弱音を吐いたら…もう何もかもおしまい…という空気にかけています。これでは、未来が見えません。

私たちは力を合わせて生き合いたいと願います。おおさかは、ひとりで生きていく場所ではありません。お互いに、それぞれの宝物を持ちよって、私たちのおおさかを創っていきたいと思います。

私たちの宝物とは、弱さ、強さ、ずるさ、かしこさ、おろかさ、素直さ、ニヒルさ、きたなさ、うつくしさ、こわさ、やさしさ、あいまいさ、率直さ、暗さ、明るさ、悲しさ、うれしさ、怒り、許し、誤解、信頼、ねたみ、愛情、にくしみ、とまどい、いなおり、びんぼう、富、忙しさ、暇さ、…人間まるごとです。

それぞれの持ちよりで、落語にでてくる八つつあん、熊さん、ご隠居さん…のような人間関係をとりもどしたいと思います。酒やサカナを持ち寄って、いきいきしたおおさかを創りましょう。たった一人の自分を、少しの勇気で乗りこえて、強さも弱さもさらけ出して、いろんな人とつき合ってみたら、今まで見えなかったものが見えてくると思います。それが、これからのおおさかです。

今、ふと立ち止まった地点で何が見えるでしょう。ふるさと、思い出、父母のこと、友のこと…これからのこと。けれども、私たちがつながらなかつたら、未来はやっぱり孤独です。私たちは堂々と生きられないままです。こんなことでいい筈がありません。

私たちは、同じ世代に、同じおおさかで生活をするようになった者たちです。しかも、私たちの身体には熱い血が流れています。感じ合えないわけがありません。あなたと私は、顔も身体つきも声も違います。思い出もそれぞれに違った形で現われました。けれども、私たちは違いをしっかりと見つめることで、共通の

ものを見つめることができます。違いをしっかりと知ることで共鳴することができます。あなたに見えることが、私には見えないかも知れません。あなたにできることが私にはできないかも知れません。しかし、それが分れば見えたも同じ、できたも同じです。

私たちが共有できる未来のおおさかは、こうした、あなたと私の関係が基盤になってできていくのだと思います。

●今を見つめて……

お金がないため今日を生きられない人がいて、人を蹴落としてどんどんお金が入ってくる人がいる——こうした今のありようを私たちはしっかり知っています。私があるあなたを、あなたが私を差別しながら生きている——こうした弱い自分を見つめることから、私たちは社会（おおさか）から生活をおびやかされる差別をこうむっている人びとの存在を、自分にとって何なのかを考えなければなりません。このことと、きっちりと向き合って生きなければ、私たちひとりひとは解き放たれません。

私たちは、自分の思いのままに、率直に生きるために、「今」を見つめることから始めたいと思います。

おおさかには、あなたを必要とする人がいます。（じつは、あなたが必要とする人でもあります）手の不自由な人、足の不自由な人、目の不自由な人、耳の不自由な人、言葉の不自由な人、知恵の不自由な人……です。彼らと一緒に自由をつかもう。一緒に歩くこと、一緒に暮らすこと、一緒に考えること。これを通して、手のこと、足のこと、目のこと、耳のこと、言葉について、知恵について、深く考えること。それは人間まるごとのありようを学ぶことに他なりません。机上の考えではつかめない、肌で知る人と人のつながりようです。

私たちの手におおさかを取りもどす第一歩です。こうした、私たち自身が生まれ変わる毎日の生活を通して、きっと共通の未来が見えてくると確信します。その日に向けて力強い第一歩を、それぞれの宝物をたずさえて進もうと呼びかけます。

●おおさか行動する障害者応援センターは……

①誰もが参加できるセンターであること。

私たち（すべての人）の手で、私たちのおおさかを創る運動です。誰もが自分のできることを持ち込んで発言し、運営していくセンターです。具体的には例会をもち、機関誌を発行します。

②センターの経営は自主的であること。

活動を広げ、充実させるための資金は、少額であっても、会員自らが身銭を出す会費を基盤として、行政に要請したり、広範な呼びかけによるカンパ、協力金受付けの窓口をつくり、運営費の確保に努力します。

これにより、障害者の送迎にともなう交通費の自己負担をなくし、機関誌の発行、PR活動の費用、例会・催し物の費用、通信費に当てます。

なお、近い将来、独自の事務所を設立するために建設資金を積み立てます。

③一緒に行動するのは、お互いの合意によること。

足の不自由な者と足の丈夫な者が一緒に行動する場合を例にすると、「足」を提供される者と「足」を提供する者は、それぞれ自分の生活と要求にもとづいて、お互いの合意によって行動します。単に“足がわり”という発想では、お互いに疲れることが多く、長続きする関係になりにくいのが今までの傾向です。率直に主張し合う関係から共通の行動を見つけ出していきたいと思えます。誰にでも選ぶ権利はあるのですが、ただ、障害者の立場と、健全者の立場では現状のところ「選ぶ権利」が等しく存在していないことからの出発点であることを踏まえます。（障害者の差別状況）

④つねに、自分が生まれ変わるための活動であること。

障害者と健全者は、どこが同じで、どこが違っているのか。たとえば、③の「選ぶ権利」の違いは何かを学び、体験を通して知っていく中から、共有できるものを見つけ出します。それは、己れの視点をひらき、変えることであり、今のおおさかのありようをしっかりと見とおす力を養うことです。そして、おおさかを

わたし じしん
私 たち自身のものにしていきます。

⑤活動の輪を広げて、住みかに帰ること。

もともと、このセンターは必要のないものです。各自の住みかで、ごく自然な形（落語の長屋のように）で隣り近所が一緒に生きようとするのが当たり前です。でも今は違う。そこで私たちは、活動をおおさかのすみずみに広げ、私たちも住みかにもどることを目標にします。

⑥行政の肩がわりでない活動であること。

私たちの活動は、おおさかを私たちの手に取りかえすものです。いつの間にか、私たちの手から行政がおおさかを奪ってしまいました。このことの見直しです。

今、私たちが、すべてのおおさか人と一緒に生きようと決心し、活動をはじめているのは、人間として当たり前前の生き方を、改めて呼びかけているにすぎません。この活動を“障害者福祉”にとらえ、“本来は行政のやるべきこと”と考える人がいたら、その人こそ活動に参加してください。行政とは何か、一緒に考えていきたいと思ひます。私たちは、もっと根本的なところから、この活動をはじめ、自分を変え、おおさかを変える力を創造したいと思ひています。

きっと共通の未来が見えてきます。

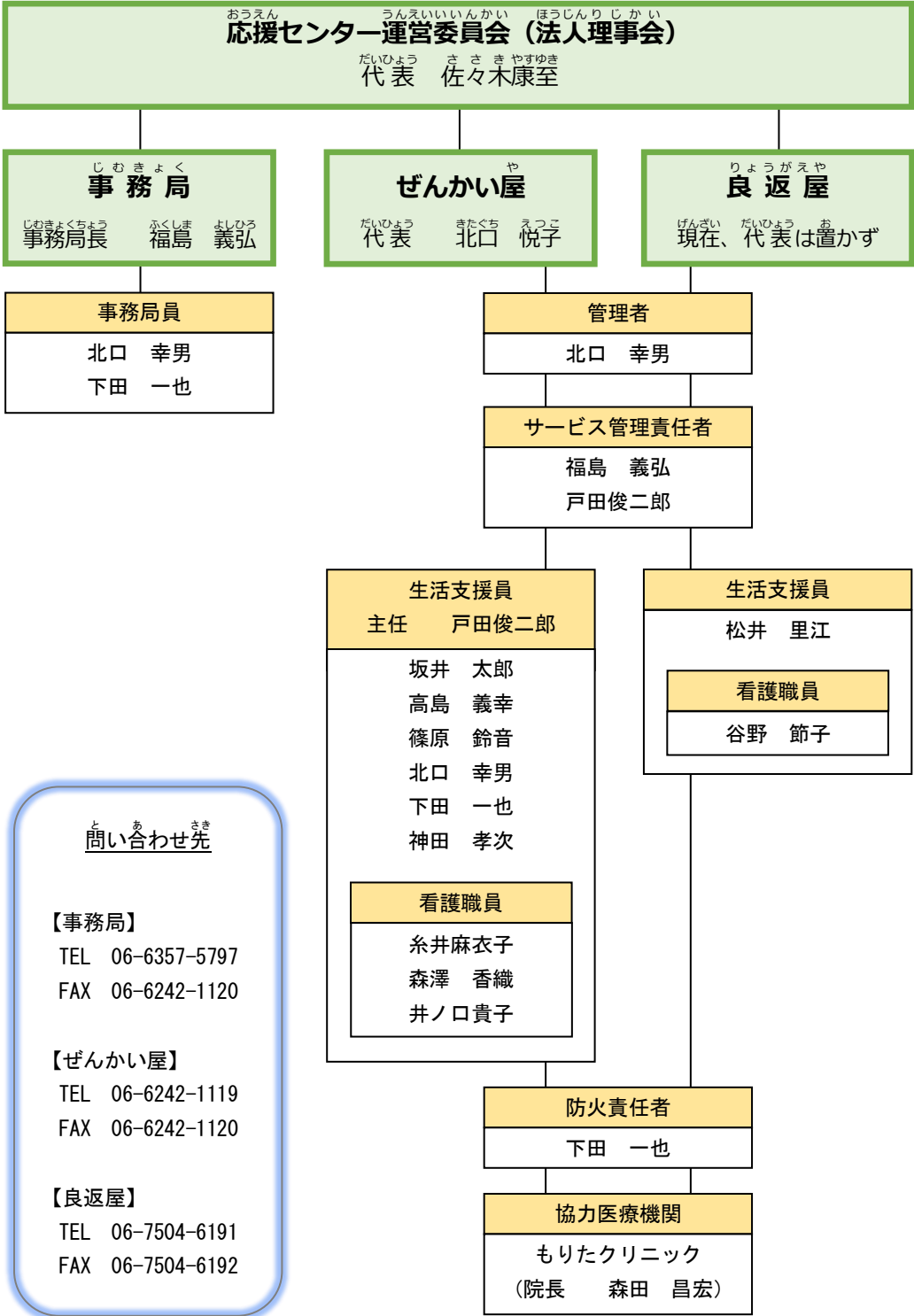
ぜひ、一緒に活動していきましょう。



● 私たちの運動にご参加ください。

「応援センター」では、つねにメンバーを募っています。まず、自分にできることから始めてみよう — というのが、この運動の特長です。つまり、あなたの主体的な参加を願ひ、お互いの主体性を尊重し合うことからの出発です。そのために自主申告による登録制をとっています。

2024年度 応援センター組織体制



代表の一言あいさつ

さ さ き だいひょう ねが
佐々木代表： ありがとうございます！よろしくお願いします！じゃあな！

よ な み ね ふ く だいひょう まいとし みじか ことば
與那嶺副代表： （代表の一言が）毎年どんどん短くなっています。3つの言葉
おも こ い こと ねが
に思いが込められていると言う事でよろしくお願いします。

ありがとうございました

2024年4月1日～7月31日



● 正会員

つじはら あや
辻原 彩
さ さ き やす ゆ き
佐々木康至
と だ し ゅん じ ろ う
戸田俊二郎
しも だ あ い こ
下田亜意子

い わ な が き よ し げ
岩永 清滋
か さ は ら ゆ き え
笠原由紀恵
よ な み ね つ か さ
與那嶺 司
き た ぐ ち ゆ き お
北口 幸男

か ん だ こう じ
神田 孝次
い と う ふ み え
伊東 史恵
つ じ い く こ
辻 郁子

いち せ ひろ ゆ き
一瀬 裕之
に し だ た か ね
西田 岳峰
しも だ か ず や
下田 一也

● 応援者会員

か み た に の ぶ よ し
紙谷 信義

や ま だ た け し
山田 剛

能登半島地震への支援を募集

ひ さい し ょ う が い し ゃ だ ん た い し え ん か つ だ う お こ な か ぜ
被災した障害者団体への支援活動を行っている「ゆめ風
き き ん お お さ か き ゅ う え ん ほ ん ぶ せ っ ち き ゅ う え ん し え ん と く
基金」では大阪救 援本部を設置して、救 援支援に取り組んで
います。寄 付 金 は 常 時 募 っ て い ま す の で、下 記 振 込 先 ま で ご
き ょ う り ょ く ね が た く わ し え ん か つ だ う じ ょ う ほう
協 力 を お 願 い し ま す。そ の 他 の 詳 し い 支 援 活 動 情 報 は、ホー
ム ペ ー ジ で ご 確 認 く だ さ い。

(ゆめ風基金ホームページ <https://yumekazek.com/>)

● 郵便振り込み (郵便局備え付けの用紙に以下を記入の上、手続きください)

こ う ざ ばん ご う
口座番号 00980-7-40043

め い ぎ に ん か ぜ き き ん
名義人 ゆめ風基金

● 銀行振り込み

ぎ ん こ う ぶ こ
ゆうちょ銀行 ○九 九 支店

こ う ざ ばん ご う と う ざ
口座番号 当座 0040043

め い ぎ に ん
名義人 ユメカゼキキン

WANTED まず、参加 ください！とんとん つくろう 障害者と応援者・声援者の出会いを

誰でも、
どんな形でも：

参加してください。きつと、すばらしい出会いが待っていますよ。

●障害者

年会費 三、〇〇〇円です。

●応援者

年会費 三、〇〇〇円です。

●声援者Ⅱ「応援センター」の趣旨に共鳴してくださる方は、活動をバックアップするため毎月一口五〇〇円を未長くご協力ください。できれば2口お願いします。

●団体声援者Ⅱ各種団体や会社で「応援センター」に資金援助してくださるグループを求めています。（年間1口3万円。もちろん、何口でも多いほどうれしいです。）

●一時的カンパⅡもちろん大歓迎！

●すたこらさん購読者Ⅱ遠方の方（近くの方も）で応援センターの

活動状況やいろいろな情報を知りたい方は購読者として参加してください。

年会費 二、〇〇〇円です。

グループとして購読してくださる方々も大歓迎。

1月10部発送で年会費

一八、〇〇〇円です。

※障害者、応援者、声援者の各会費に本誌すたこらさん購読料が含まれています。また会員以外で当センターへの寄付金カンパをいただいたみなさまに本誌をお届けしています。



もくじ

《KSKすたこらさん 2024夏》

1. 法人の役員・職員一覧	事務局	
2. 2023年度の活動報告	事務局	1
3. 2024年度の事業計画	事務局	31
4. 役員の選任	事務局	43
5. 決算報告&予算計画	事務局	45
6. 質疑応答ダイジェスト	事務局	59
7. 応援センター趣意書	事務局	60
8. 応援センター組織体制	事務局	64
9. 代表あいさつ	事務局	
10. ありがとうございます	事務局	
11. 能登半島地震の支援情報	事務局	

編集人 特定非営利活動法人
おおさか行動する障害者応援センター
〒530-0035 大阪市北区同心2丁目6-13
エミメントヤナセ101
電話 06-6357-5797 FAX 06-7504-6192

発行人 関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4階
電話/FAX 06-6763-3338